

令和2年度

事業報告書



社会福祉法人
寝屋川市社会福祉協議会

目次

令和2年度事業の総括	1
1. 小地域福祉活動推進事業	2
2. まちかど福祉相談所拡充事業	6
3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業	10
4. 地域支え合い推進事業	12
5. ボランティアセンター事業	16
6. 福祉教育推進事業	21
7. 当事者組織支援事業	23
8. 献血推進事業	26
9. 福祉有償運送事業	27
10. 車イス貸出し事業	33
11. 元気アップ介護予防ポイント事業	34
12. 救急医療情報キット普及事業	36
13. 福祉総合相談事業	37
14. 赤い羽根共同募金事業	39
15. 歳末たすけあい運動事業	41
16. 広報事業	45
17. 調査・研究事業	47
18. 地域包括支援センター事業	51
19. 生活困窮者自立支援事業	60
20. 生活福祉資金貸付事業	66
21. 生活緊急支援金給付事業	68
22. 日常生活自立支援事業	69
23. 善意銀行事業	72
24. 法人運営・基盤強化事業	73
25. 研修事業	81
26. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営	82
27. 地域福祉活動計画の推進・策定	83
28. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う取組み	85

表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」表記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
例えば、表のひとつの枠内に 8(△5)とある場合は、令和 2 年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス 5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「-」表記はゼロを指します。
例えば、表のひとつの枠内に 6(-)とある場合は、令和 2 年度実績が 6 で、前年実績も 6 であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。

令和2年度事業の総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による休業や失業といった雇用環境が悪化し、生活費に困った世帯が急増しました。そのため、緊急小口資金等の特例貸付が開始され、過去に例がないほどの相談や申請の受付を行いました。

また、緊急事態宣言等による外出自粛要請がでたため、校区で取り組んでいたサロンや会食会など、地域福祉活動を休止せざるを得ない状況となりました。

このような状況において、社会福祉協議会の事業をふりかえり、おもな成果と課題について以下のようにまとめました。

1 おもな成果

- (1) 緊急事態宣言期間（4月7日～5月6日）において、ひとり暮らし高齢者などに対して孤立防止等を目的とした電話による見守り・安否確認事業を、校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会の共催で実施することができました。
- (2) コロナの特例貸付における相談のなかで、今日食べるものにも困っている世帯に対して貸付金支給までのつなぎとして食品支援等を行いました。
- (3) コロナ禍にもかかわらず、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集について、自治会の協力を得て実施することができました。
- (4) 地域福祉に関わる団体や事業者、関係機関の協力を得て、「ともに支え合う あったか福祉のまちづくり “未来福祉ねやがわ”」を目標（スローガン）とした第3次地域福祉活動計画（令和3年度から5年間）を策定しました。

2 課 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症等を理由とした経済的に困窮する世帯も含め、社会的孤立や孤独の状態に陥らないように、暮らしの支援を行う必要があります。
- (2) 社会福祉協議会や地域福祉活動への理解や協力を得られるように、社協の会費や募金など自主財源を確保する対策を講じるとともに、新たな財源づくりについて引き続き検討する必要があります。
- (3) コロナ禍においても地域福祉活動を維持していくため、ICT（情報通信技術）の活用など新たな方法で、つながりづくりや話し合いの場の企画など検討していく必要があります。
- (4) 福祉分野に限らない多様な主体とネットワークを構築しながら、地域共生社会をめざし、子どもや青少年を巻き込んだ活動を通じて担い手を育成する必要があります。

1. 小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区(校区福祉委員会)で推進しました。

(1) 校区福祉委員会活動推進事業(全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業)

① 校区福祉委員長協議会の開催(開催回数:4回)

5月12日(火)、1月13日(水)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第1回 7月1日(水) 23校区出席

- [1] 人事異動及び校区担当について
- [2] 校区福祉委員長について
- [3] 校区福祉委員長協議会正副会長の選任について
- [4] 校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会開催要項について
- [5] 赤い羽根共同募金運動実施要項について
- [6] 寝屋川市敬老記念式典について
- [7] 新型コロナウイルス感染症への対応について
- [8] 会員募集中間報告について
- [9] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [10] 新型コロナウイルス感染症に対するボランティア保険の補償について
- [11] 地域福祉活動再開に向けたヒント集

【配付】令和元年度校区福祉委員会活動概況一覧

【配付】災害時に備えた地域づくり講座報告書「知ることで、できることがある」

【配付】福祉学習の手引き

【配付】ボランティアセンター通信第121号

【配付】ねやがわ子育てナビ・ねやがわ子育てマップ

【配付】かかりつけ医療機関安心マップ2020

【配付】Quoカード(外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業実績に応じた額)

第2回 9月1日(火) 23校区出席

- [1] ひとり暮らし高齢者名簿の配付について
- [2] 歳末たすけあい運動実施要項について
- [3] 新型コロナウイルス影響下における地域福祉活動の現状と今後について
- [4] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [5] 高齢者等の見守り活動に関するアンケート調査中間報告について
- [6] 赤い羽根共同募金街頭募金日程表について

【配付】ひとり暮らし高齢者名簿・受領書

【配付】ボランティアセンター通信第122号

【配付】「ひきこもり」相談に関するチラシ・リーフレット

第3回 11月2日(月) 23校区出席

- [1] 令和3年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- [2] まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
- [3] 新型コロナウイルス影響下における地域福祉活動に関する情報交換
- [4] 第3次寝屋川市地域福祉活動計画策定に向けてのヒアリング
- [5] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [6] 歳末たすけあい運動街頭募金の中止について
 - 【配付】社会福祉協議会会員募集実施要項
 - 【配付】令和元年度CSW活動報告書
 - 【配付】CSW活動指針
 - 【配付】第2次寝屋川市地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」概要版

第4回 3月9日(火) 23校区出席

- [1] 令和3年度ひとり暮らし高齢者調査について
- [2] 令和3年度校区福祉委員会各種書類の提出について
- [3] 赤い羽根共同募金運動実績報告について
- [4] 歳末たすけあい運動募金の実績報告について
- [5] 令和3年度年間行事予定、地域献血日程について
- [6] 令和3年度ボランティア講座(入門編)について
- [7] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [8] 「令和3年度乗り合い事業・バス利用促進事業」概要について
 - 【配付】ひとり暮らし高齢者調査様式一式
 - 【配付】ボランティア保険様式
 - 【配付】ボランティアセンター通信125号
 - 【配付】認知症フォーラムチラシ

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催(開催回数:-回)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ 子育てサロン担当者交流会(開催回数:-回)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催(開催回数:2回)

4月28日(火)、6月23日(火)、12月8日(火)、2月16日(火)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第1回 8月25日(火) 21校区+ボランティア相談員3人

- [1] 校区ボランティア部会長について
- [2] 校区ボランティア部会長役員の選出について
- [3] 第2回 語ろう会 ～リモート語ろう会から～
- [4] 令和元年度活動報告・令和2年度活動計画について(検討)

[5] ボランティアセンターからのお知らせ

- ① ボランティア講座（入門編）を共催する校区福祉委員会ボランティア部会の確認
- ② ボランティアセンター相談員からのお知らせ

第2回 10月27日（火） 19校区+ボランティア相談員3人

- [1] 第3回 語ろう会 ～コロナ禍における近況報告～
- [2] オンライン会議を体験してみよう！
- [3] ボランティアセンターからのお知らせ
 - ① VC運営委員会（9月14日）の報告
 - ② ボランティアセンター相談員からのお知らせ

⑤ 校区福祉委員研修会の開催

[1] 校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会

実施日 8月11日（火）

参加数 39人

内 容 基礎研修①「校区福祉委員会活動の目的と意義」

講師 摂南大学教務部教育イノベーションセンター 講師 上野山 裕士 氏

基礎研修②「寝屋川市社協が目指すふくしのまちづくり」

実務研修 「会計・書記の実務と役割」

[2] 校区福祉委員会指導者研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑥ 個別ケース検討会議の開催

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、校区の実情に併せてまちかど福祉相談員連絡会等を活用して開催しました。

⑦ 事例研究会の実施（開催回数：3回）

コミュニティワーク（CW）、コミュニティソーシャルワーク（CSW）を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施しました。

*（コミュニティワーク⇒）住民が地域生活を営んでいくうえで生じる様々な問題に、住民自身が主体的・組織的に取り組むとともに、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法

*（コミュニティソーシャルワーク）支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援の方法

[1] 実施日

第1回 9月2日（水）

講義「事例研究会の目的・意義について」

事例「ゴミを収集、異食が考えられる40代男性の支援について」

第2回 10月28日(水)

事例「うつ病を発症した夫が自傷行為をし、それを見たこどもがチック症を発症。妻も精神不安定になっている世帯への支援」

第3回 1月28日(木)

事例「日を追うごとに移り変わる本人からの相談への対応」

[2] 講師 大阪市立大学大学院 講師 鵜浦 直子 氏

⑧ コミュニティワーク(CW)業務研究会(開催回数:1回)

校区福祉委員会活動を中心とした地域支援の事例研究を通じ、事務局職員として地域福祉の推進(福祉課題を抱える人を支える地域づくり)方策を探ることを目的として研究者を講師として実施する。

[1] 実施日

第1回 12月1日(火)

事例「社協会員募集事業×“コミュニティ”ワーク×ブランディング」

[2] 講師 同志社大学 教授 永田 祐 氏

⑨ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業(助成団体数:-校区)

校区福祉委員会が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めています。

助成団体なし

⑩ 外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛要請及びイベント開催自粛要請等による地域住民のふれあいやつながる機会の一時的な消失により、高齢者や障害者等の要支援者が孤立を抱えないよう、見守りや安否確認等を強化するために実施しました。

[1] 校区福祉委員会、民生委員児童委員協議会共催で電話による見守り・安否確認

対象:ひとり暮らし高齢者等

人数:8,797人

[2] 障害児者の孤立を防ぐ活動(障害児者福祉施設協議会と連携)

対象:14事業所

人数:138人

[3] 「社協かわら版」の作成と配付

対象:ひとり暮らし高齢者等

部数:10,000部

2. まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つながりのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに相談の充実を図りました。

(1) まちかど福祉相談所の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の実情に応じて活動を実施

① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施しました。

実施日 11月24日(火)、11月27日(金)、12月3日(木)

会場 保健福祉センター5階多目的ホール、市民会館3階講義室

修了者数 31人

内容 [1] まちかど福祉相談所の取り組み

[2] 話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ

演習講師 アクトコミュニケーションズ 加藤 あや 氏

[3] まちかど福祉相談所の活動実践について(先輩相談員から)

② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

対象者及び内容		西北	南	東北	西	東	西南	計
対象者	高齢者	5 (△15)	11 (△77)	1 (△26)	20 (△59)	20 (△42)	-(△16)	57 (△235)
	障害者	3 (△5)	-(△13)	1 (-)	-(△4)	-(△8)	-(△1)	4 (△31)
	子ども	-(△2)	-(△3)	1 (1)	-(△2)	-(△2)	- (-)	1 (△8)
	* その他	-(△1)	-(△9)	1 (△5)	14 (△19)	3 (△5)	-(△8)	18 (△47)
計		8 (△23)	11 (△102)	4 (△30)	34 (△84)	23 (△57)	-(△25)	80 (△321)
相談内容	高齢者関係	5 (△11)	11 (△82)	2 (△25)	20 (△60)	23 (△40)	-(△20)	61 (△238)
	障害者関係	3 (△5)	-(△21)	2 (-)	-(△13)	4 (△4)	-(△1)	9 (△44)
	子育て・子どもの教育関係	-(△2)	-(△2)	1 (1)	-(△2)	-(△3)	- (-)	1 (△8)
	母子(父子)家庭関係	- (-)	- (-)	- (-)	-(△1)	-(△1)	- (-)	-(△2)
	DV被害関係	-(△1)	- (-)	- (-)	-(△4)	- (-)	- (-)	-(△5)
	ホームレス関係	- (-)	- (-)	- (-)	-(△1)	- (-)	- (-)	- (△1)
	外国人関係	- (-)	- (-)	- (-)	-(△1)	- (-)	- (-)	-(△1)
	福祉制度関係	4 (△17)	4 (△36)	1 (△24)	3 (△28)	14 (△40)	-(△8)	26 (△153)
	生活費関係	1 (△6)	1 (△17)	1 (△7)	3 (△9)	3 (△13)	-(△4)	9 (△56)
	住宅関係	1 (△10)	1 (△18)	1 (△2)	1 (△11)	7 (△18)	-(△6)	11 (△65)
	地域福祉・V活動関係	-(△10)	3 (△18)	- (-)	-(△8)	7 (△8)	-(△9)	10 (△53)
	健康相談関係	1 (△8)	5 (△13)	-(△25)	5 (△19)	11 (△35)	-(△15)	22 (△115)
	その他	3 (△1)	1 (△22)	-(△9)	16 (△30)	-(△6)	-(△4)	20 (△72)
計		18 (△71)	26 (△229)	8 (△91)	48 (△187)	69 (△168)	-(△67)	169 (△813)
相談所開催日数		29 (△14)	14 (△59)	12 (△66)	18 (△58)	24 (△40)	-(△68)	97 (△305)

* 相談内容「その他」の主な内容

緊急時安否確認（かぎ預かり）事業、スポーツについて、自身の就労状況について、親族とのトラブル、近隣住民とのトラブル、友人関係についてなど

④ 校別まちかど福祉相談（まちの保健室）相談件数

平成 25 年度より大阪府看護協会事業「まちの保健室」と連携協働して実施しています。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

		梅が丘
対象者	高齢者	-(△79)
	障害者	-
	子ども	-
	*その他	-(△7)
計		-(△86)
相談	健康相談に関すること	-(△235)
	その他	-(△18)
計		-(△253)
相談所開催日数		-(△2)

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

まちかど福祉相談所の充実発展に各エリアが取り組みました。

各エリア	主な取り組み
① 西北エリア 開催回数 29 回	<p>【西北まちかど福祉相談所】 29 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 5 日より感染予防に努めながら活動再開 ・ 12 月 18 日から令和 3 年 3 月にかけて活動休止 ・ 西北まちかど福祉相談所運営委員会 5 回 ・ 夏期集中見守り活動の推進
② 南エリア 開催回数 14 回	<p>【木田校区まちかど福祉相談所】 9 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 10 日より感染予防に努めながら活動再開 <p>【木田校区かやしま福祉相談所】 5 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 22 日より感染予防に努めながら活動再開 <p>【堀溝ほほえみなんでも相談所】 -回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>【堀溝ほほえみなんでも相談所相談員連絡会】 2 回</p> <p>【“みなみ” なんでも福祉相談所】 -回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
③ 東北エリア 開催回数 12 回	<p>【第五まちかど福祉相談所】 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月から 10 月、11 月 25 日から令和 3 年 3 月にかけて活動休止 ・ 11 月 11 日感染予防に努めながら開所 <p>【宇谷まちかど福祉相談所】 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月から令和 3 年 2 月にかけて活動休止 ・ 3 月 17 日感染予防に努めながら開所 <p>【三井まちかど福祉相談所】 10 回</p>

各エリア	主な取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から6月、12月から令和3年2月にかけて活動休止 ・7月9日から11月にかけて感染予防に努めながら活動再開 ・3月18日感染予防に努めながら開所
④西エリア 開催回数 18回	<ul style="list-style-type: none"> 【西校区あったか何でも相談所】-回 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・西校区あったか何でも相談所相談員連絡会 9回 【池の里まちかどなんでも相談所】15回 ・6月3日より感染予防に努めながら活動再開 ・八中校区地域包括と共催の福祉なんでも相談会（出張） 3回 ・池の里まちかどなんでも相談所相談員連絡会 3回
⑤東エリア 開催回数 24回	<ul style="list-style-type: none"> 【梅が丘まちかど福祉相談所】18回 ・7月6日より感染予防に努めながら活動再開 ・梅が丘まちかど福祉相談所相談員連絡会 2回 【中央まちかど福祉相談所】-回 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・中央まちかど福祉相談所相談員連絡会 5回 【明和校区まちかど福祉相談所】6回 ・6月1日より感染予防に努めながら活動再開
⑥西南エリア 開催回数 1回	<ul style="list-style-type: none"> 【和光まちかどふくし相談所】-回 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・和光まちかどふくし相談所連絡会 2回 【西南エスポアールまちかど福祉相談所】-回 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・西南エスポアールまちかど相談所運営委員会 5回 ・西南エスポアールまちかど相談所正副委員長による協議 2回 ・西南圏域4校区委員長による協議 2回

(3) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）連絡会の開催（開催回数：15回）

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について話し合いました。また、新型コロナウイルス感染症影響下における地域福祉活動とCSW活動のすすめ方について検討しました。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮者への相談対応

新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮者への相談対応を実施し、新型コロナウイルス感染症特例貸付等へのつなぎを行いました。

相談件数 1,538件

3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認（かぎ預かり）の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内 21 か所の福祉施設と協力して実施しています。内容は、65 歳以上でひとり暮らし高齢者の内、利用を希望する人を対象に、玄関の鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

(1) かぎ預かり利用者数（3 月 31 日現在）

利用者数	新規申込	解約
780 人(22)	88(△33)	65(△21)

(2) 緊急対応の状況

対応件数 16 件（鍵使用 13 件／鍵未使用 3 件）

緊急対応時間帯	対応数
午前（8 時～12 時）	3
午後（12 時～18 時）	10
夜間（18 時～21 時）	3
深夜・早朝（21 時～7 時）	-
計	16

緊急対応の状況	対応数
救急搬送	2
死亡	-
在宅	1
入院中（外出中）	6
鍵の紛失	7
その他	-
計	16

(3) かぎ保管協力施設 21 施設

法人区分	施設数
社会福祉法人	14
医療法人	3
株式会社	4
計	21

(4) 21 協力施設合同会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) かぎ預かり事業への視察対応等

7月2日（木）2人 大東市地域包括支援センター

8月28日（金）3人 大阪府社会福祉事業団 東大阪養護老人ホーム・地域包括支援センター

10月12日（月）6人 住之江区役所・住之江区社会福祉協議会・住之江区平林地区福祉委員会

4. 地域支え合い推進事業（生活支援体制整備事業）〈市からの受託事業〉

高齢者の社会参加と介護予防推進のため、地域で支え合う活動づくりや高齢者が気軽に集える場所といった資源開発やネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなど、地域における支え合い体制づくりに取り組んでいます。

(1) 地域支え合い推進員の配置

第1層（市域）地域支え合い推進員2人・第2層（日常生活圏域）地域支え合い推進員3人の配置を行いました。

(2) 地域支え合い推進に向けた方針づくり

高齢者が自立した生活を送ることができるよう、多様な主体によるさまざまな生活支援・介護予防サービスの充実、地域における支え合い体制づくりに向けて関係機関と話し合いを行っています。

① 地域支え合い推進員調整会議（開催回数：11回）

第1回 6月24日（水）

- 〔1〕 今年度の事業のすすめ方について

第2回 9月30日（水）

- 〔1〕 地域包括支援センターヒアリング調査報告
- 〔2〕 アンケート調査集計について
- 〔3〕 短期集中通所型サービスへのかかわりについて
- 〔4〕 地域資源情報管理システム「Ayamu」導入に向けて

第3回 10月13日（火）

- 〔1〕 アンケート調査集計について
- 〔2〕 短期集中通所型サービスへのかかわりについて
- 〔3〕 地域資源情報管理システム「Ayamu」導入に向けて
- 〔4〕 高齢者等見守りアンケート報告書の作成に向けて

第4回 11月9日（月）

- 〔1〕 地域資源情報管理システム「Ayamu」導入に向けて
- 〔2〕 短期集中通所型サービスへのかかわりについて
- 〔3〕 ヒアリング、アンケート集計結果の報告書作成等について

第5回 12月23日（水）

- 〔1〕 地域資源情報管理システム「Ayamu」情報精査について
- 〔2〕 ひとり暮らし高齢者アンケートについて
- 〔3〕 地域支え合い推進事業企画について
- 〔4〕 短期集中通所型サービスについて

第6回 1月8日（金）

- 〔1〕 ひとり暮らし高齢者アンケートについて
- 〔2〕 短期集中通所型サービスについて
- 〔3〕 地域資源情報管理システム「Ayamu」情報精査について

第7回 1月20日(水)

- [1] ひとり暮らし高齢者アンケートについて
- [2] 短期集中通所型サービスについて
- [3] 地域資源情報管理システム「Ayamu」情報精査について

第8回 2月4日(木)

- [1] 来年度事業計画について
- [2] 地域包括支援センター等他機関連携について

第9回 2月24日(水)

- [1] ひとり暮らし高齢者アンケート調査報告について
- [2] 地域支え合い調整会議企画について
- [3] 短期集中通所型サービスについて
- [4] 令和3年度事業計画について
- [5] 高齢者等見守りアンケート進捗状況

第10回 3月5日(金)

- [1] 3月地域包括支援センターセンター長会議出席について
- [2] 地域支え合い推進事業計画について
- [3] 高齢者等見守りアンケートについて
- [4] 地域支え合い調整会議企画について
- [5] 短期集中通所型サービスについて

第11回 3月29日(月)

- [1] 前回の調整会議の振り返り
- [2] 令和2年度事業報告について
- [3] 地域支え合い調整会議企画について
- [4] 高齢者等見守りアンケートについて
- [5] 短期集中通所型サービスについて

(3) 地域アセスメントと資源の把握

高齢者や地域のニーズを把握するとともに、社会参加（通いの場）や支え合い活動に役立つ場所やサービス、市内の取り組みについての情報収集を行いました。

① 「ひとり暮らし高齢者対象アンケート調査」の実施

目 的 ひとり暮らし高齢者のニーズを把握することを目的に実施

調査対象 ひとり暮らし高齢者台帳登録者 2,500人（無作為抽出）

回収人数 648人（回収率25.92%）

② 地域包括支援センター対象ヒアリング調査

目 的 高齢者を取り巻く課題や様々な社会資源の把握を行いました。

調査対象 地域包括支援センター（12包括）

調査方法 対面ヒアリング

(4) 資源開発

①地域資源情報管理システム「Ayamu」導入

市高齢介護室が運用する地域資源情報管理システム構築に向けて情報交換を行いました。
9月25日（金）10人

②地域支え合い推進員が把握している社会資源について情報精査

精査対象社会資源数：888

精査方法：校区福祉委員会、まちかど福祉相談員、自治会関係者、老人会、地域包括支援センター、コミュニティセンター職員等にヒアリングを行う

(5) ネットワーク構築

多様な関係主体が参画し情報共有や連携、協働による取り組みを推進する、市域全体の第1層協議体（市が設置運営）へ参加・協力しています。また、日常生活圏域（第2層）ごとに諸課題に応じて関係者との連携を行いました。

①寝屋川市地域ケア会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②地域包括支援センターと連携

市内地域包括支援センター（12包括）に地域支え合い推進事業の説明会を行いました。
*地域包括支援センター対象ヒアリング調査と同日に実施しました。

③寝屋川あいの会と連携

人材育成等について意見交換を行いました。

7月30日（木）人材育成等における連携について検討

11月18日（水）有償活動員の養成の仕組みについて情報交換

④認知症フォーラム実行委員会に参加

市高齢介護室主催の認知症フォーラム実行委員会に参加し、認知症啓発を目的とした動画作成に協力するとともに、各種関係機関と意見交換を行いました。

(6) ニーズと取り組みのマッチング

①短期集中通所サービス後の地域活動サポート

事業所（3事業所）と連携し、社会資源の情報提供など、短期集中通所サービス後の地域活動を支援しました。

対象人数：10人

支援回数：53回

支援内容：社会参加に関する情報提供、就労情報提供など

② 元気アップ体操等通いの場自主活動起ち上げサポート

市が養成する「元気アップ体操サポーター」の自主活動を支援しました。

(7) 先進市の取り組み調査と各種事業の検討

研修等に参加し、地域における支え合い推進体制づくりの先進市の取り組みについて情報収集を行い、本市における活動展開について検討を行いました。

【参考事例】

- ・「地域活動ガイドライン」に基づく有償ボランティアの育成（泉佐野市）
- ・「ゆめ伴プロジェクト」の取り組み（門真市）
- ・「おやかふえトライ」の取り組み（東大阪市）
- ・「ちょいサポしのだ」の取り組み（和泉市） など

5. ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図りました。

(1) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催（開催回数：4回）

5月11日（月） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第1回 7月13日（月）出席：13人

- [1] ボランティアセンター通信 121号（7月1日号）発行
- [2] ボランティア講座及び各種会議等について
- [3] ボランティア登録状況について
- [4] ボランティアセンター運営委員会での検討課題について

第2回 9月14日（月）出席：15人

- [1] ボランティアセンター通信 122号（9月1日号）発行
- [2] ボランティア講座及び各種会議等について
- [3] ボランティアセンター運営委員会での検討課題について

第3回 11月16日（月）出席：13人

- [1] 新規ボランティアセンター相談員について
- [2] 団体登録の新規申請について
- [3] ボランティアセンター通信 123号（11月1日号）
- [4] 令和2年度ボランティア講座及び各種会議等について
- [5] 検討課題「これからの若い担い手育成等について」

第4回 3月8日（月）出席：13人

- [1] ボランティアセンター通信 124号・125号発行
- [2] 令和2年度各種会議及びボランティア講座について
- [3] 意見交換～令和2年度の話し合いのまとめ・令和3年度に向けて～

② ボランティア相談員連絡会の開催（開催回数：7回）

ボランティア活動希望者の相談や個人、施設等からのボランティア依頼、需給調整を行っています。週3回、9人のボランティア相談員で対応しています。

開催日（出席者）

6月15日（6人）、7月20日（8人）、8月17日（5人）、9月28日（7人）、10月19日（8人）、11月24日（5人）、3月15日（9人）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記は中止

4月20日、5月18日、1月18日、2月8日

(2) ボランティア研修事業

① ボランティア講座（入門編）の開催（開催回数：-回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②ボランティア講座（技術編）の開催（開催回数：-回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ボランティア講座（シニア編）の開催（開催回数：1回）＜市からの委託事業＞

ボランティア講座〔シニア編〕	
講座名	農作業体験講座
開催日	3月16日（火）
会場	梅が丘農園
参加数	15人
内容	野菜の収穫体験や参加者同士の交流を通して、農作業から得られる喜びや生きがいを共有する。
講師	アスパラの会（本会登録ボランティアグループ）

④ボランティア体験プログラムの実施（大阪府社協との共催事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) ボランティアセンター通信の発行（発行：6回／各2,000部発行）

発行日	号	主な内容
5月1日	120	年間延べ500回以上の活動 ～傾聴V「14の耳」～
7月1日	121	今回は「特別編集」 VCも感染症の影響大
9月1日	122	コロナ禍でも「来て、来て」コール ～夢楽ライブ一座～
11月1日	123	V活動への思いあれこれ『感動』のおすそ分け
12月20日	124	リモート会議を体験 ～ボランティア部会長会～
3月1日	125	コロナ禍の現状、それぞれの思い…今だからできることを探していきます

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の間、休止

4月2日（木）から6月22日（月）

12月5日（土）から令和3年1月3日（日）

令和3年1月14日（木）から3月7日（日）

活動依頼相談	7(△237)
活動参加希望相談	8(-)
各種情報提供	5(△13)
計	20(△250)

② ボランティアの育成・組織化の実施

過去に依頼があった福祉施設を中心に、新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても必要なボランティア活動についてアンケート調査（送付数：32）を実施しました。

③ 活動に必要な場所の提供（ボランティアセンター室）

感染防止対策

- ・マスクの着用、手指の消毒、密閉・密集・密接しない、部屋の喚起の協力
- ・利用可能な定員の設定
- ・利用後の利用報告書の提出

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の間、休止

4月2日（木）から6月22日（月）

12月5日（土）から令和3年1月3日（日）

令和3年1月14日（木）から3月7日（日）

時間帯	計
午前	97(△41)
午後	131(9)
夜間	1(△3)
計	229(△35)

④ 学校等からの依頼に基づく調整

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) ボランティア活動の需給調整の実施

(施設・団体分)

件数	3(△118)
参加V数	4(△830)

(6) 登録ボランティアグループ連絡会の開催

①登録ボランティアグループ連絡会役員会の開催（開催回数：2回）

第1回 役員会 9月4日（金） 出席 役員3人

〔1〕 次回の連絡会の案件について

第2回 役員会 3月18日（木） 出席 役員2人

〔1〕 次回の連絡会の案件について

②登録ボランティアグループ連絡会の開催（開催回数：1回）

4月14日（火）、7月14日（火）、1月14日（木）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第1回 連絡会 10月6日(火) 出席 22団体

- [1] 事務局からの連絡
- [2] 連絡会での活動発表について
- [3] 森田会長、活動見学報告

(7) 資材教材の貸出し

学校やボランティアグループ、市民活動団体、行政に対して貸出しを行いました。

感染防止対策

- ・アイマスクは使用中止
- ・使用後と使用前に申請団体で消毒を行う。
- ・使用後は使用報告書を提出

① 教材用車イス貸出状況

件数	16 (△14)
貸出台数	497 (△442)

② 教材用アイマスク貸出状況

感染症対策のため使用中止

件数	-(△13)
貸出枚数	-(△872)

③ 教材用擬似体験装具貸出状況

件数	-(△13)
貸出台数	-(△514)

④ 教材用点字板貸出状況

件数	6 (△2)
貸出枚数	2,800 (1,520)

⑤ プロジェクター貸出状況

件数	1 (△35)
貸出台数	1 (△46)

⑥ 教材用DVD貸出状況

件数	3 (-)
貸出台数	73 (△21)

*上記①～⑥貸出台数・貸出枚数は延べ数で記載

(8) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団体：51 団体（945 人） 個人：27 人

(9) 災害ボランティアセンタースタッフ登録者

16 人

(10) 災害用主な備品状況

備品	計
収納コンテナボックス	12
エアテント	3
簡易テント	1
ビブス（ベスト）	600
軍手	500
カゴ台車	6
折り畳み式リヤカー	3
蛍光灯	6
発電機	3
投光器	5
ヘルメット	50
チェーンソー	2
長靴	21
雨具	15
看板（標示）	9
トランシーバー	10
踏み抜き防止ソール	60
折畳み太陽光発電パネル	1
ポータブル蓄電池	1
ポータブルナビ	2
3連梯子	2

*市の協力を得て、市防災倉庫における災害備品の保管場所を確保することができました。

6. 福祉教育推進事業

子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心や気づきを深め、ひとり一人が自分出来ることを考え行動する力を育む活動を行っています。また、他市の福祉教育の情報収集を行い、既存のプログラムだけではない福祉教育のあり方について検討しました。

(1) 福祉体験学習説明会の開催

5月8日（金） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

* 「福祉体験学習の手引き」は市内小・中・高等学校へ郵送しました。

(2) ボランティアグループ等で対応した福祉体験学習（実施回数：19回）

① 擬似体験学習（対応団体：擬似体験ボランティアうらしまさん・各校区福祉委員会）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内 容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	9月11日	梅が丘小	4年	51	梅が丘		○	
2	9月24日	桜小	4年	60	-		○	
3	10月16日	梅が丘小	5年	44	梅が丘	○		
4	10月23日	桜小	5年	61	-	○		
5	10月26日	同志社香里	1年	245	-	○		
6	10月27日	中						
7	11月12日	国松緑丘小	4年	50	国松緑丘		○	
8	11月20日	国松緑丘小	5年	53	国松緑丘	○		
9	12月3日	宇谷小	5年	70	宇谷	○		
10	1月14日	楠根小	3年	28	楠根		○	
計				662		5	4	-

② 点字（対応団体：点訳ボランティアつくしの会）

No.	実施日	実施先		人数
1	10月27日	三井小	3年	51
2	11月24日	国松緑丘小	3年	44
3	11月26日	楠根小	4年	25
計				120

③障害のある当事者の話（対応団体及び対応者：視覚部、石橋奈美氏）

No.	実施日	実施先		人数	対応団体	内 容	
						視覚障害について	介助犬について
1	10月26日	国松緑丘小	2年	55	石橋奈美氏		○
2	11月14日	香里ヌヴェール学院中	3年	56	石橋奈美氏		○
3	11月17日	石津小	4年	51	視覚部	○	
4	11月25日	堀溝小	3年	54	石橋奈美氏		○
5	12月7日	池田小	4年	93	視覚部	○	
計				309		2	3

④認知症の理解

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤平和学習（対応団体：擬似体験ボランティアうらしまさん）

No.	実施日	実施先		人数
1	10月20日	国松緑丘小	6年	66
計				66

(3) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 福祉啓発を目的とした市民向けのシンポジウムの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

*市民への福祉啓発を目的に地域福祉活動（社会福祉協議会事業）を題材とした4コマ漫画を作成しました。

7. 当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行いました。

(1) 組織運営の支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

[1] ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催（開催回数：4回）

4月21日（火）、12月15日（火）、2月16日（火）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6月16日（火）	7人	令和元年度連絡会事業報告及び決算報告について 連絡会事業計画（案）及び予算（案）について 交通費の取扱いについて 会長交流会について 研修会について 連絡会ニュースの配布
8月18日（火）	5人	会長交流会について 研修会について ひとり暮らし高齢者の会宣伝チラシ作成について
10月20日（火）	6人	ひとり暮らし高齢者の会研修会について（検討） 会長交流会について（検討） 各会チラシ、連絡会チラシ作成について
3月16日（火）	6人	決算書・事業報告書について 令和3年度予算書・事業計画について 次期会長選出、役員改選

[2] 連絡会ニュースの発行（発行：1回）

発行月 4月 発行部数 600部

[3] 会長交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

[4] 会員数

会員数：147人（△40）

連絡会加入会数：6会（△1） *令和3年3月31日現在

② 介護者の会

〔1〕 介護者の会理事会の開催（開催回数：8回）

- 5月12日（火）、令和3年2月2日（火）、3月2日（火）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- | | | |
|-----------|-----|--|
| 4月7日（火） | 9人 | 総会について |
| 6月16日（火） | 13人 | 総会について
役員改選について |
| 7月7日（火） | 10人 | 役員改選再検討
総会について |
| 9月1日（火） | 9人 | 総会（役員のみで開催）
下半期事業について検討 |
| 10月6日（火） | 9人 | リフレッシュ事業・研修会の検討
新年交流会について
北河内4市介護者（家族）の会ブロック交流会中止案内と川柳募集案内 |
| 11月10日（火） | 10人 | リフレッシュ事業について
新年交流会について
北河内4市介護者（家族）の会川柳集約について（集計、選出） |
| 12月1日（火） | 11人 | 介護者の会勉強会について
北河内4市介護者（家族）の会ブロック川柳募集について（報告連絡）、大阪府介護者（家族）の会連絡会、コロナ禍特別企画「あすへかける」の案内について |
| 1月12日（火） | 9人 | 介護者の会勉強会について
北河内4市川柳募集の結果報告 |

〔2〕 介護サロンの実施（開催回数：9回 / 相談件数：電話相談110件 来所相談-件）

介護者の会会員や一般市民が、気軽に立ち寄って介護に関する相談ができる場として、毎週木曜日に介護サロンを実施しました。

4月9日（木）から6月25日（木）、1月14日（木）から3月4日（木）の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔3〕 認知症介護家族交流会の実施（開催回数：2回）

4月17日（金）、12月18日（金）、2月19日（金）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8月21日（金） 11人

10月16日（金） 13人

〔4〕 「介護者だより」の発行（発行：-回）

発行休止

[5] 分会活動の実施

会員を市内6ブロックに分け、分会ごとに会員懇談会・交流会等活動を行いました。

(分会活動開催回数・内容)

- [1 分会] 2回 会員懇談会、分会開催検討
- [2 分会] 一回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- [3 分会] 1回 会員懇談会
- [4 分会] 一回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- [5 分会] 3回 出前講座（健康体操、歌体操、健康づくり）
- [6 分会] 1回 役員会議

[6] 北河内4市介護者（家族）の会連絡会に参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

[7] 大阪府介護者（家族）の会連絡会に参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

[8] 会員数

会員数：119人（△44）

内 訳：正会員38人（△2）準会員63人（△4）賛助会員18人（△38）

*令和3年3月31日現在

(2) コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の会の会活動を活性化し、ひとり暮らし高齢者の福祉向上を図るために役員との連携および交流を大切にしています。また、連絡会を定例開催し、各会の抱える問題などを協議しながら情報交換を行い、広報紙の作成に協力するなど支援を行っています。

② 介護者の会への支援

定例開催している理事会を通じて役員と意見交換や情報交換を行い、協力を図りながら円滑に会活動を遂行していけるように支援を行っています。また、分会活動における定例会や交流会に参加し、会員の声に耳を傾けながら介護における苦悩を理解して、介護者の会会員の福祉につなげていけるように今後も支援をしていきます。

8. 献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施しました。また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施しました。

(1) 地域・団体献血の実施（実施回数：16回）

月日	会 場	主 催	受付数	採血数
5	21 京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	41	39
	26 イオンモール四條畷	南エリア4校区福祉委員会	43	31
6	2 コーナン東寝屋川店	東エリア4校区福祉委員会	18	14
8	13 市役所本庁	北大阪赤十字血液センター	65	55
9	4 エスポアール	西南エリア4校区福祉委員会	23	20
	8 アル・プラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	49	38
	9 成田山不動尊駐車場	東北エリア4校区福祉委員会	30	26
10	15 京阪寝屋川市駅東口前	東エリア4校区福祉委員会	39	35
	16 保健福祉センター	西エリア4校区福祉委員会	20	14
	27 コーナン寝屋川昭栄店	南エリア4校区福祉委員会	24	19
12	10 和光小学校	西南エリア4校区福祉委員会	27	21
1	7 市役所本庁	北大阪赤十字血液センター	34	31
	21 京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	33	27
3	2 アル・プラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	18	15
	5 保健福祉センター	西エリア4校区福祉委員会	24	23
	19 ビバモール寝屋川	東北エリア4校区福祉委員会	29	25
計			517 (50)	433 (35)

(2) 事業所、学校、街頭献血の実績

区分	実施回数	受付数	採血数
事業所	19 (△14)	372 (△515)	318 (△456)
学校	- (△8)	- (△402)	- (△300)
街頭	34 (13)	2,009 (948)	1,766 (843)
計	53 (△9)	2,381 (31)	2,084 (87)

9. 福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスを行いました。

(1) 移送サービス事業<市からの一部受託事業>

① 移送サービスの実施件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
予約件数(件)		179 (△74)	- (△236)	121 (△114)	190 (△44)	156 (△62)	195 (△42)
実施件数	高齢者	4 (△95)	- (△104)	49 (△53)	67 (△33)	62 (△36)	81 (△26)
	高齢+障害者	1 (△60)	- (△54)	29 (△24)	49 (△8)	40 (△10)	47 (△12)
	障害者	1 (△32)	- (△22)	22 (△10)	44 (5)	33 (4)	37 (5)
	その他	- (△20)	- (△10)	5 (△11)	4 (△9)	7 (△6)	9 (△2)
	計(件)	6 (△207)	- (△190)	105 (△98)	164 (△45)	142 (△48)	174 (△35)
V参加数(人)		6 (△118)	- (△114)	92 (△30)	112 (△18)	94 (△28)	118 (△4)
利用目的	通院など	4 (△134)	- (△123)	74 (△52)	120 (△14)	93 (△30)	118 (△26)
	施設送迎	2 (△41)	- (△34)	18 (△28)	29 (△14)	33 (△2)	40 (1)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (△1)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
	その他	- (△31)	- (△33)	13 (△18)	14 (△18)	16 (△16)	16 (△10)
	計(件)	6 (△207)	- (△190)	105 (△98)	164 (△45)	142 (△48)	174 (△35)
稼働日数(日)		1 (△29)	- (△26)	23 (△6)	29 (△2)	25 (△5)	29 (△1)
走行距離(km)		156 (△3,841)	- (△3,690)	2,045 (△1,973)	3,148 (△1,027)	2,413 (△1,364)	3,303 (△477)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予約件数(件)		222 (△18)	167 (△66)	192 (△34)	135 (△77)	116 (△114)	146 (△55)	1,819 (△936)
実施件数	高齢者	89 (△16)	79 (△17)	13 (△85)	15 (△72)	- (△97)	61 (37)	520 (△597)
	高齢+障害者	55 (2)	28 (△29)	10 (△47)	11 (△46)	- (△50)	33 (24)	303 (△314)
	障害者	33 (△10)	30 (△9)	3 (△32)	5 (△25)	- (△38)	20 (13)	228 (△151)
	その他	9 (-)	8 (△4)	- (△10)	2 (△5)	- (△12)	7 (5)	51 (△84)
	計(件)	186 (△24)	145 (△59)	26 (△174)	33 (△148)	- (△197)	121 (79)	1,102 (△1,146)
V参加数(人)		130 (4)	110 (△8)	18 (△94)	28 (△84)	- (△116)	96 (66)	804 (△544)
利用目的	通院など	128 (△8)	94 (△41)	21 (△115)	22 (△93)	- (△117)	90 (57)	764 (△696)
	施設送迎	34 (△9)	33 (△5)	4 (△25)	6 (△23)	- (△41)	22 (19)	221 (△202)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	3 (3)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (4)
	その他	21 (△10)	17 (△14)	1 (△34)	5 (△32)	- (△39)	9 (3)	112 (△252)
	計(件)	186 (△24)	145 (△59)	26 (△174)	33 (△148)	- (△197)	121 (79)	1,102 (△1,146)
稼働日数(日)		31 (2)	28 (△1)	4 (△23)	8 (△18)	- (△27)	24 (17)	202 (△119)
走行距離(km)		3,724 (△513)	2,688 (△1,126)	493 (△3,308)	697 (△2,777)	- (△3,720)	2,570 (1,770)	21,237 (△22,046)

② 移送ボランティアグループの育成・支援

〔1〕 移送ボランティア連絡会 1回

〔2〕 登録ボランティア数 35人 (-) <運転 19人、介助 14人、事務 2人>

③ 利用登録者数

区分	高齢者	高齢+障害者	障害者	その他	計
登録者数	757 (111)	328 (29)	80 (-)	53 (12)	1,218 (152)

④ 移送ボランティアグループ研修交流会

ボランティアに交通安全の啓発チラシを配付しました。

⑤ 感染防止対策

- ・ 送迎車両の運転・助手席と利用者席との間に飛沫防止板を設置
- ・ 換気と車両の消毒
- ・ 利用前の体調の聞き取り・検温・手指消毒
- ・ 相乗りの中止（家族のみ可）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の間、休止

4月2日（木）から6月7日（日）

12月5日（土）から令和3年1月3日（日）

令和3年1月14日（木）から3月7日（日）

(2) 高齢者外出援助サービス<市からの受託事業>

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内6地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽自動車による外出援助サービスを行いました。

①実施件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
予約件数(件)	23(△279)	13(△259)	157(△111)	219(△86)	219(△54)	205(△84)	
実施件数	高齢者	-(△272)	-(△248)	137(△90)	195(△86)	158(△83)	171(△92)
	その他	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (△1)	- (-)
	計(件)	-(△272)	-(△248)	139(△88)	195(△86)	158(△84)	171(△92)
V参加数(人)	5(△379)	5(△331)	245(△90)	323(△92)	250(△113)	290(△104)	
利用目的	通院など	-(△230)	-(△212)	120(△78)	166(△83)	136(△78)	146(△86)
	施設送迎	-(△5)	- (-)	-(△2)	1(△4)	6 (4)	2(△5)
	行事参加	- (-)	-(△1)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	-(△37)	-(△35)	16(△11)	28(1)	16(△10)	23(△1)
	計(件)	-(△272)	-(△248)	139(△88)	195(△86)	158(△84)	171(△92)
稼働日数(日)	-(△126)	-(△115)	91(△29)	113(△29)	89(△41)	96(△33)	
走行距離(km)	- (△4,449)	- (△4,115)	2,342 (△1,589)	3,330 (△1,136)	2,611 (△1,179)	2,639 (△1,797)	

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
予約件数(件)	245(△51)	231(△58)	226(△77)	127(△156)	80(△194)	155(56)	1,900(△1,353)	
実施件数	高齢者	222(△31)	208(△58)	181(△97)	46(△213)	-(△239)	134(104)	1,452(△1,405)
	その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2(1)
	計(件)	222(△31)	208(△58)	181(△97)	46(△213)	-(△239)	134(104)	1,454(△1,404)
V参加数(人)	317(△83)	301(△71)	268(△98)	93(△257)	12(△352)	239(172)	2,348(△1,798)	
利用目的	通院など	183(△29)	177(△38)	155(△64)	44(△167)	-(△198)	123(96)	1,250(△1,167)
	施設送迎	5(3)	-(△13)	-(△2)	-(△2)	-(△13)	- (-)	14(△39)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	-(△2)	- (-)	- (-)	-(△2)
	その他	34(△5)	31(△7)	26(△31)	2(△42)	-(△28)	11(8)	187(△198)
	計(件)	222(△31)	208(△58)	181(△97)	46(△213)	-(△239)	134(104)	1,454(△1,404)
稼働日数(日)	118(△15)	108(△24)	94(△40)	27(△94)	-(△121)	80(64)	816(△603)	
走行距離(km)	3,305 (△963)	3,127 (△1,099)	2,762 (△1,441)	662 (△3,658)	- (△3,832)	2,088 (1,427)	22,866 (△23,831)	

②各種会議の開催

〔1〕各地区運営委員長会議の開催（開催回数：3回）

6月25日（木） 14人

- 〔1〕 運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- 〔2〕 運転協力者現任研修会の開催検討
- 〔3〕 実務に関する確認
 - ・ 令和元年度事業報告・収支報告
 - ・ 利用登録者の更新について
 - ・ 活動保険について
- 〔4〕 各地区の活動状況報告

11月5日（木） 12人

- 〔1〕 中間実績報告
- 〔2〕 運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- 〔3〕 実務に関する確認
 - ・ 年末年始の予約調整及び活動予定について
 - ・ カレンダーの配布について
 - ・ 赤い羽根マグネット回収依頼
 - ・ マスク等の購入について
 - ・ 今年度の各地区の交流会について
- 〔4〕 各地区の活動状況報告

3月18日（木） 10人

- 〔1〕 乗合い事業及びバス利用促進事業について
- 〔2〕 運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- 〔3〕 新型コロナウイルス感染症に対する寝屋川市のフェーズ（現在）について
- 〔4〕 実務に関する確認
 - ・ 利用料の収支報告書の提出について
 - ・ 車両点検の日程調整について
 - ・ ゴールデンウィークの調整日と活動について
 - ・ 社協会員募集の車両ステッカーの貼り付け依頼
 - ・ AT制御コンピューターのリコール修理について
 - ・ 各地区携帯電話の名義変更完了報告と費用支出について
- 〔5〕 各地区の活動状況報告

〔2〕各地区運営委員会の開催（開催回数：14回）

東地区…1回（書面決議）、東北地区…2回、西北地区…1回
西南地区…9回、西地区…1回、南地区…なし

③利用登録者並びに登録ボランティア

		西北	南	東北	西	東	西南	計(人)	
利用登録者数		139 (△40)	216 (△52)	179 (△65)	211 (△29)	113 (△44)	164 (△60)	1,022 (△290)	
V 数	運転・介助	11(△1)	11(△3)	19(-)	21(△2)	9(-)	23(1)	94(△5)	
	事務	7(△2)	4(△1)	14(-)	6(△3)	11(-)	13(2)	55(△4)	

*令和2年度利用登録更新実施

(ボランティア数重複あり)

④感染防止対策

- ・ 送迎車両の運転・助手席と利用者席との間に飛沫防止板を設置
- ・ 換気と車両の消毒
- ・ 利用前の体調の聞き取り・検温・手指消毒

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催(開催回数:2回)

運転ボランティアの安定的な確保を図ることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

開催日		有料 受講者	西北	南	東北	西	東	西南	移送	その他	計(人)
第1回	6月2日・5日	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
第2回	10月5日・9日	-	2	-	-	-	1	-	1	-	4
第3回	2月8日・12日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止									

(4) 運転者協力者現任研修会の開催(開催回数:一回)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の間、休止

地 区	休 止 期 間
西北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月9日（火） ・ 12月26日（土）から令和3年3月16日（火）
南地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月2日（火） ・ 令和3年1月14日（木）から3月9日（火）
東北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月7日（日） ・ 8月4日（火）から9月30日（水） ・ 令和3年1月17日（日）から3月2日（火）
西地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月9日（火） ・ 12月17日（木）から令和3年1月5日（火） ・ 令和3年1月14日（木）から3月10日（水）
東地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月3日（水） ・ 12月14日（月）から令和3年1月5日（火） ・ 令和3年1月14日（木）から3月8日（月）
西南地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（水）から6月9日（火） ・ 12月26日（土）から令和3年1月5日（火） ・ 令和3年1月14日（木）から3月11日（木）

10. 車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要な人を対象に車イスの貸出しを行いました。
保有台数 60 台（自走式 39 台、介助式 21 台）

(1) 月別貸出し状況

月	4	5	6	7	8	9	
件数	21(△21)	11(△17)	17(1)	16(△6)	18(△6)	20(-)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	21(△5)	24(△13)	20(△10)	16(△6)	11(△5)	24(9)	219(△79)

(2) 年齢別利用状況

年齢	49歳以下	50～64歳	65～74歳	75歳以上	計
件数	30(△16)	17(△7)	39(5)	133(△59)	219(△79)

(3) 貸出し期間別利用状況

貸出期間	1週間未満	1か月未満	1～2か月	3～4か月	5～6か月	計
件数	64(△42)	41(△24)	40(-)	44(△7)	30(△6)	219(△79)

(4) 利用目的別利用状況

利用目的	通院	散歩	日常	行事	その他	計
件数	102(△42)	6(△11)	80(16)	22(△43)	9(1)	219(△79)

1 1. 元気アップ介護予防ポイント事業 <市からの受託事業>

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談を受け、サポート活動の需給調整を図っています。

(1) サポーター登録者数等

① 登録者数 (累計) 493 人 (△24) *うち令和2年度新規登録者数 18 人

② 実活動者数 117 人 (△172)

③ 活動内容別参加者数 (重複有り)

[1] 縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動……………	28 人
[2] 囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動……………	15 人
[3] 傾聴、話し相手などの活動……………	5 人
[4] 紙芝居、朗読などの活動……………	18 人
[5] ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動……………	29 人
[6] お茶出し、食堂での配膳などの補助活動……………	37 人
[7] 園芸、草刈りなどの補助活動……………	44 人
[8] 施設行事の手伝いなどの活動……………	-人
[9] その他施設における軽微かつ補助的な活動……………	-人
計	176 人

(2) サポーター受入登録施設数

① 高齢者施設 108 施設 (△2) <新規登録数: ->

② 障害者施設 12 施設 (-) <新規登録数: ->

③ 児童施設 21 施設 (-) <新規登録数: ->

④ その他の施設 1 施設 (-) <新規登録数: ->

計 142 施設 (△2) <新規登録数: ->

(3) サポーター登録研修の開催 (開催回数: 3 回)

開催日 7 月 13 日(月) 5 人

9 月 14 日(月) 8 人

11 月 9 日(月) 6 人

*5 月 11 日(月)、1 月 18 日(月)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

会 場 保健福祉センター5 階 研修室 5

参加者 19 人 (△17)

内 容 介護予防サポーターとは

講師 京都光華女子大学 教授 石井 祐理子 氏

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催（開催回数：1回）

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップを図ることを目的に開催しました。

開催日 9月29日（火）

会場 保健福祉センター5階 多目的ホール

参加者 登録サポーター 32人

内容 講義：ボランティアグループ「14の耳」による傾聴講座

講師 介護ネットワーク北河内傾聴ボランティア「14の耳」

代表 久保山 毅 氏

(5) 施設情報交換会の開催（開催回数：-回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

*登録施設受入情報のアンケートをとりまとめて、サポーターに提供しました。

(6) 登録サポーター交流会の開催（開催回数：-回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

*サポーター同士の情報交換を目的に、活動状況のアンケートをとりまとめて、サポーターに提供しました。

(7) 需給調整

相談	調整	成立	不成立
92(56)	73(49)	-(△12)	3(△5)

(8) 介護予防ポイント転換交付金の交付

交付人数	117人(△171)
延べ活動日数	2,165日(△7,642)
ポイント転換金額	433,200円(△1,518,200)

12. 救急医療情報キット普及事業 <市からの受託事業>

ひとり暮らし高齢者に救急医療情報などを記載した用紙を収納する「命のカプセルあんしん」を配付しています。そして、毎年春に行うひとり暮らし高齢者調査に伴う訪問の際に、定期情報更新を行いました。

【キット配付・情報更新件数】

キット配付数	948 個
情報更新件数	8,318 件

13. 福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

【個人を支える社協の取り組み】

個別支援	移送サービス事業実施件数	1,102	件
	外出援助サービス事業実施件数	2,858	件
	元気アップ介護予防ポイント事業	176	件
	各地区まちかど福祉相談活動件数	169	件
	車イス貸出件数	219	件
	個別ケース総合相談件数(実数)	180	件*内訳別掲
	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業契約件数	88	件
	生活困窮者自立支援事業相談件数	14,320	件
	生活福祉資金貸付事業相談件数	20,462	件
	日常生活自立支援事業	113	件
	個別支援件数	39,687	件 (28,562)

【地域を支える取り組み】

地域支援	各校区福祉委員会など	202	件
	校区福祉委員長協議会	96	件
	各校区ボランティア部会	18	件
	校区ボランティア部会長会	48	件
	福祉教育実施	10	件
	地域支援件数	374	件 (△590)

(参考)地域支援頻度	1月あたり	49.1	回
	1月の地域担当ひとりあたり	8.1	回

個別支援および地域支援 合計件数 40,061 件 (28,058)

事務支援	ボランティア保険事務	総合保険	166	件
		行事保険	247	件
		加入者数	2,847	人

※個別ケース総合相談 180件の内訳概要

どこから	来所	34	電話、電子メールなど	140	出向いて	6
------	----	----	------------	-----	------	---

相談者は	本人	69	家族	26	福祉委員会	31
	関係機関	45	知人など	9		

この内容は (複数回答あり)	見守り活動	51	ボランティア活動	15	個別ケース調整	80	社協の他の取り組み	33
	介護・健康など	57	障害・健康など	40	乳幼児・健康など	1	生活費など	67
	近隣のこと	22	法律に関すること	30	生き方について	47	その他	25

対応	終了	130	支援継続中	50
----	----	-----	-------	----

対応の内容は (複数回答あり)	福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討した。又は、図った。	110
	情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した。	132
	傾聴を行った。	106

支援形態は (複数回答あり)	支援機関は明らかだが、CSWが支援した。 (他機関との連携、共同支援)	74
	主たる支援機関が未確定のため、CSWが支援した。 (切れ目なく支援を継続するため)	72
	制度のはざまを補うため、CSWが支援した。 (支援者の増援を求めるため)	112

14. 赤い羽根共同募金事業

赤い羽根共同募金活動を市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図ります。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

自治会の協力のもと戸別募金、事業所募金の実施、市内の公立小中学校で学校募金の実施、社会福祉施設等で募金箱の設置など、全市的に募金活動を展開しました。

また、10月1日に予定していた街頭募金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

①募金実績額

(単位：円)

募金区分	2年度実績額	元年度実績額	前年度比
戸別募金	11,899,474	12,268,303	△ 368,829
事業所募金	582,850	693,622	△ 110,772
学校募金	57,074	53,095	3,979
職域募金	91,646	69,054	22,592
街頭募金	-	97,769	△ 97,769
バッジ募金	370,500	370,500	-
その他(※)	131,009	129,319	1,690
計	13,132,553	13,681,662	△ 549,109

※その他の内訳（社会福祉施設等の募金箱など）

②校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	624,613	13,500	638,113
石津	134,567	100	134,667
宇谷	270,584	10,500	281,084
梅が丘	228,310	10,750	239,060
神田	488,229	26,600	514,829
北	668,467	2,000	670,467
木田	406,333	114,400	520,733
楠根	172,830	1,900	174,730
国松緑丘	345,906	-	345,906
啓明	477,120	3,100	480,220
木屋	536,004	6,000	542,004
桜	251,581	45,700	297,281

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
点野	532,527	31,200	563,727
成美	825,176	140,000	965,176
田井	356,280	25,500	381,780
第五	1,964,330	33,550	1,997,880
中央	522,146	50,400	572,546
西	374,379	15,700	390,079
東	665,345	900	666,245
堀溝	700,094	7,000	707,094
三井	231,610	-	231,610
南	615,890	29,950	645,840
明和	133,000	-	133,000
和光	373,653	14,100	387,753
計	11,898,974	582,850	12,481,824

(2) 共同募金配分結果

令和2年度に行われた共同募金等は、大阪府共同募金会にて審査され、以下の施設等に配分されました。

[1] 赤い羽根共同募金による配分 (4件 13,650,500円)

① 社会福祉協議会 10,530,500円

(機関紙「虹」発行費用、校区福祉委員会が取り組む地域福祉活動への補助、移送サービス事業の運営費等、地域福祉推進のための事業に活用)

② ケアハウス ロイヤルライフ・カミダ 1,336,000円

③ 認定こども園 池田保育園 1,000,000円

④ たちばなこども園 784,000円

[2] NHK歳末たすけあいによる配分 (1件 34,000円)

① 月の輪学院(福祉型障害児入所施設) 34,000円

15. 歳末たすけあい運動事業

市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。

なお、12月1日に予定していた街頭募金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

(1) 募金実績額

(単位：円)

募金区分	令和2年度実績額	令和元年度実績額	前年度比
戸別募金	10,912,070	11,493,181	△581,111
事業所募金	819,930	816,800	3,130
街頭募金	-	146,241	△146,241
その他	124,360	312,564	△188,204
計	11,856,360	12,768,786	△912,426

※「その他」は施設、個人

(2) 校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	717,100	-	717,100
石津	114,968	500	115,468
宇谷	266,653	11,000	277,653
梅が丘	221,610	-	221,610
神田	466,395	18,000	484,395
北	694,678	39,500	734,178
木田	414,257	127,000	541,257
楠根	148,233	-	148,233
国松緑丘	391,974	-	391,974
啓明	451,552	80,000	531,552
木屋	519,047	22,000	541,047
桜	251,936	64,500	316,436
点野	474,918	41,730	516,648
成美	722,913	104,000	826,913
田井	357,927	23,500	381,427
第五	1,432,487	63,000	1,495,487
中央	524,861	43,500	568,361
西	364,080	77,500	441,580
東	620,540	-	620,540
堀溝	460,334	56,600	516,934
三井	269,979	-	269,979
南	516,601	36,000	552,601

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
明和	133,000	-	133,000
和光	376,027	11,600	387,627
計	10,912,070	819,930	11,732,000

(3) 配分実績

① 地域福祉活動に対する配分	10,963,174 円
計	10,963,174 円

* [地域福祉活動に対する配分] の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】

(単位：円)

校区福祉委員会名	計
池田校区福祉委員会	507,486
石津校区福祉委員会	259,548
宇谷校区福祉委員会	323,489
梅が丘校区福祉委員会	241,187
神田校区福祉委員会	389,236
北校区福祉委員会	647,322
木田校区福祉委員会	402,566
楠根校区福祉委員会	206,013
国松緑丘校区福祉委員会	373,627
啓明校区福祉委員会	391,730
木屋校区福祉委員会	449,135
桜校区福祉委員会	394,869
点野校区福祉委員会	430,387
成美校区福祉委員会	385,366
田井校区福祉委員会	409,102
第五校区福祉委員会	862,064
中央校区福祉委員会	526,191
西校区福祉委員会	323,188
東校区福祉委員会	499,445
堀溝校区福祉委員会	289,562
三井校区福祉委員会	387,258
南校区福祉委員会	427,291
明和校区福祉委員会	309,557
和光校区福祉委員会	486,115
計	9,921,734

【当事者や家族の福祉団体】

(単位：円)

団体名	計
寝屋川市身体障害者福祉会	53,440
寝屋川市障害児者を守る親の会	32,800
寝屋川市肢体不自由児（者）父母の会	25,280
寝屋川市障朋会	29,760
寝屋川市母子寡婦福祉会	62,560
寝屋川市原爆被害者の会	39,360
全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会	24,480
神経筋難病患者家族の会「ひまわり会」	22,400
寝屋川市難病連絡会	22,560
計	312,640

【ボランティアセンター登録団体】

(単位：円)

団体名	計
アスパラの会	15,600
園芸福祉ボランティアらぶ	34,300
大阪睦会	9,750
おっとこまへの会	2,600
北河内傾聴ボランティア「14の耳」	11,050
擬似体験ボランティアうらしまさん	32,350
北校区子育てサロンパッチワーク	7,800
京阪ナツメロ愛好会	17,550
車椅子ダンス「さくら草」	8,450
写仏愛好会	3,250
手話サークルひびき	4,550
地域ボランティアなの花会	5,850
点訳ボランティアつくしの会	28,450
日曜大工ボランティアとんかちクラブ	5,850
寝屋川市身体障害者福祉会視覚部会	24,550
寝屋川市民たすけあいの会	42,900
ホームページ作成ボランティアくりっくねと☆	21,950
ボランティア・みい	20,800
要約筆記サークル「バンビ」	4,550
朗読ボランティアにじの会	16,900
ブリッジこだま	9,750
計	328,800

【寝屋川市介護者の会】

(単位：円)

団 体 名	計
寝屋川市介護者の会	300,000

【こども食堂実施団体】

(単位：円)

団 体 名	計
成美校区福祉委員会	50,000
社会福祉法人東和福祉会	50,000
計	100,000

16. 広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。

(1) 機関紙の発行

① 機関紙「虹」の発行（発行：4回）

号/発行日 (部数)	主な内容
151号 5月1日 (115,500)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度 事業計画と予算 ・ 特集「ひきこもり」状態の方々への支援について ・ 福祉委員会活動紹介 ～成美小学校区～ ・ 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の情報交換会 ・ 介助犬「お散歩たすけ隊!」の紹介 ・ 施設での1日ボランティア体験 ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト!(荻野茂基さん/梅が丘校区福祉委員会)
152号 8月1日 (115,500)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特集 “コロナに負けない!” 地域福祉活動再開への思いと取り組みについて ・ “コロナに負けない!” 生活を支えるための支援 ・ 令和元年度 事業報告と決算 ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～南校区～ ・ 地域のふくしお助けマン! CSWについて ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト!(川崎容子さん/三井校区福祉委員会)
153号 11月1日 (115,500)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歳末たすけあい運動への協力をお願い ・ 地域活動の活性化のために ・ 福祉委員会活動紹介～神田小学校区～ ・ 日常生活自立支援事業について ・ 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の取り組み ・ 日曜大工はお任せください「とんかちクラブ」の紹介 ・ 善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト!(白川清司さん/点野校区福祉委員会)
154号 2月1日 (115,500)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会 会員募集「社会福祉協議ってなあに?」 ・ ひとり暮らし高齢者の「もしも」のために ～緊急時安否確認(かぎ預かり)事業と、命を守る地域福祉活動～ ・ 福祉委員会活動紹介～池田小学校区～ ・ 地域福祉活動計画「地域福祉活動計画が進化します!」 ・ 日常生活自立支援事業における取り組み紹介 ・ ボランティアグループ「らぶ」「にじの会」活動案内

号/発行日 (部数)	主な内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト! (吉田 勇さん/堀溝校区福祉委員会)

② 広報編集委員会の開催 (開催回数: 8回)

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。(主な案件: 紙面内容の検討)

開催日及び参加人数 6月23日(火)9人、8月19日(水)9人、9月29日(火)9人、10月6日(火)8人、11月17日(火)6人、12月17日(木)書面送付、2月書面送付、3月19日(金)7人

(2) 福祉広報研修会の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) ホームページの運営

毎月第3月曜日、ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて随時更新しました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ

<http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

(4) SNS ページの運営

Instagram、Facebook、Twitter の公式ページを活用し、地域福祉活動や社会福祉協議会の取り組みなどの情報を随時発信しました。

Instagram <https://www.instagram.com/neyagawashishakyo/>

Facebook <https://fb.me/NeyagawashiShakyo>

Twitter <https://twitter.com/NeyagawaShakyo>

17. 調査・研究事業

(1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[4月1日現在]

校区	65～74歳		75歳以上		計		ひとり暮らし 高齢者総数	ひとり暮らし高齢者数の内訳		
	男	女	男	女	男	女		入院者	未記入者	記入者数
池田	46	77	70	214	116	291	407(△11)	6	29	372
石津	9	28	28	74	37	102	139(8)	5	3	131
宇谷	14	64	13	99	27	163	190(19)	-	17	173
梅が丘	27	67	41	136	68	203	271(△9)	-	2	269
神田	14	60	49	160	63	220	283(△2)	3	29	251
北	34	70	63	251	97	321	418(△11)	6	13	399
木田	36	84	69	219	105	303	408(△13)	14	34	360
楠根	20	35	21	70	41	105	146(△6)	2	13	131
国松緑丘	15	53	33	177	48	230	278(1)	7	13	258
啓明	52	72	60	209	112	281	393(△4)	7	35	351
木屋	30	60	38	167	68	227	295(6)	1	20	274
桜	48	80	73	202	121	282	403(△8)	11	19	373
点野	60	103	83	221	143	324	467(41)	4	30	433
成美	32	64	60	289	92	353	445(7)	8	27	410
田井	39	75	58	157	97	232	329(1)	3	30	296
第五	46	120	73	335	119	455	574(19)	2	65	507
中央	38	64	61	222	99	286	385(△11)	20	21	344
西	26	54	34	169	60	223	283(9)	8	11	264
東	19	31	42	161	61	192	253(-)	11	18	224
堀溝	31	36	33	101	64	137	201(4)	5	7	189
三井	55	128	133	390	188	518	706(△13)	9	43	654
南	46	90	81	249	127	339	466(△5)	3	6	457
明和	7	23	22	118	29	141	170(△11)	15	-	155
和光	60	71	77	200	137	271	408(8)	12	15	381
計(人)	804	1,609	1,315	4,590	2,119	6,199	8,318 (19)	162 (△30)	500 (20)	7,656 (29)

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

校区	生存	死亡	計
池田	1(1)	-(△1)	1(-)
石津	1(1)	-(-)	1(1)
宇谷	-(-)	1(1)	1(1)
梅が丘	1(-)	3(3)	4(3)
神田	1(-)	2(△1)	3(△1)
北	-(-)	1(△1)	1(△1)
木田	-(-)	2(△1)	2(△1)
楠根	-(-)	1(△1)	1(△1)
国松緑丘	-(-)	1(-)	1(-)
啓明	1(1)	1(1)	2(2)
木屋	1(1)	-(-)	1(1)
桜	-(-)	-(△2)	-(△2)
点野	-(△1)	3(△1)	3(△2)
成美	1(1)	-(-)	1(1)
田井	-(-)	1(-)	1(-)
第五	-(-)	2(2)	2(2)
中央	-(-)	4(4)	4(4)
西	-(△1)	1(-)	1(△1)
東	-(-)	-(-)	-(-)
堀溝	1(1)	1(1)	2(2)
三井	-(-)	7(4)	7(4)
南	1(1)	-(-)	1(1)
明和	-(-)	-(-)	-(-)
和光	-(-)	-(-)	-(-)
計(人)	9(5)	31(8)	40(13)

② 対象者の年齢

年齢	生存	死亡	計
50歳未満	-(-)	-(-)	-(-)
50歳以上～65歳未満	-(-)	2(2)	2(2)
65歳以上～75歳未満	-(△3)	13(8)	13(5)
75歳以上	9(8)	14(△4)	23(4)
不詳	-(-)	2(2)	2(2)
計	9(5)	31(8)	40(13)

③ 発見者

発見者	生存	死亡	計
家族・親族	-(-)	6(△1)	6(△1)
近隣住民	3(2)	9(3)	12(5)
友人・知人	-(-)	3(2)	3(2)
福祉委員(民生委員含む)	2(-)	1(-)	3(-)
自治会役員	-(-)	2(1)	2(1)
新聞・宅配業者	1(1)	2(2)	3(3)
福祉サービス関係者	1(1)	2(△3)	3(△2)
不詳・その他	2(1)	6(4)	8(5)
計	9(5)	31(8)	40(13)

④ 発見までの日数(死後発見のみ)

発見までの日数	件数
死亡当日～死後1日	9(△1)
死後2日～3日	7(△1)
死後4日～7日	2(1)
死後8日以上	3(1)
不詳	10(8)
計	31(8)

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

かぎ預かり事業契約有無	生存	死亡	計
有り	4(4)	2(-)	6(4)
無し	5(1)	29(8)	34(9)
計	9(5)	31(8)	40(13)

(3) 社会福祉協議会・地域福祉活動の魅力・知名度向上に関する調査・研究

ブランディングの手法を調査・研究し、社会福祉協議会・地域福祉活動の応募者の増加を目指して、幅広い世代に対する地域福祉活動の魅力の伝え方について、事務局内で検討しました。

18. 地域包括支援センター事業<市からの受託事業>

第三中学校区、第八中学校区の地域包括支援センターの運営を行っています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、市や介護、福祉、医療など地域の関係機関や団体等との連携協力の下、健康、生活、財産、権利などを守りながら生活を支えるための仕組みづくりを行っています。

(1) 総合相談・支援

高齢者に関する相談に対応するとともに、必要な支援を行い問題の解決・改善に努めました。

(相談経路)

	電話	来所	その他	計
三中包括	352(△75)	112(△56)	8(△25)	472(△156)
八中包括	238(11)	84(△24)	34(10)	356(△3)

(相談者の内訳)

【三中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	81(△56)	ケアマネジャー	59(△4)	市役所	15(△17)
家族	197(△29)	サービス事業所	12(△2)	その他	6(△12)
知人・近隣	23(△3)	医療機関	36(△17)		
福祉委員等	27(-)	警察	-(△2)		
他包括	6(△3)	関係機関	10(△11)	計	472(△156)

【八中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	68(△19)	ケアマネジャー	32(△7)	市役所	21(1)
家族	131(21)	サービス事業所	3(△4)	その他	4(△2)
知人・近隣	16(9)	医療機関	33(2)		
福祉委員等	26(△9)	警察	-(△2)		
他包括	6(1)	関係機関	16(6)	計	356(△3)

(相談件数及び内容)

内 容	介 護 (介護保 険含む)	介護予 防・生活 支援サー ビス	医 療	認知症	権利擁護	介護者の 離職防止	その他 (生活上 の相談)	計
三中包括	253 (50)	77 (△96)	10 (△8)	26 (7)	7 (△9)	- (-)	99 (△100)	472 (△156)
八中包括	130 (46)	93 (5)	11 (3)	13 (△2)	11 (△5)	- (-)	98 (△50)	356 (△3)

(2) 介護予防ケアマネジメントの実施

① 「非該当」となった方への支援件数

要介護認定において「非該当」となった方で基本チェックリストを通じて、支援対象となった方について、地域包括支援センターがプラン作成を行いました。

	計
三中包括	-(△1)
八中包括	-(-)

② 介護予防講座等の開催及び運営支援

地域包括支援センター主催による介護予防の取り組みから地域主体による介護予防の取り組みへの働きかけ、支援をしています。

	主催	運営支援
三中包括	-(-)	-(△18)
八中包括	-(-)	23(△17)

(3) 権利擁護、高齢者虐待の防止・早期発見のための取り組み

継続的に高齢者虐待、権利擁護に対して関係機関と連携し様々な制度、サービスの調整等を行いました。(新規対応分)

	計
三中包括	5(△5)
八中包括	6(△15)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

ケアマネジャーや介護保険事業所への支援を実施した件数 (新規対応分)

① 困難ケースにおける助言・支援件数

	計
三中包括	23(△7)
八中包括	19(△13)

② 地域との連携に向けた会議・研修会・広報啓発活動

【三中包括】 計 4 回 (△38)

＜市域＞	・ 寝屋川市在宅医療・介護連携推進協議会	・ ・ ・ ・ ・ 2 回
	・ 認知症介護家族交流会	・ ・ ・ ・ ・ 1 回
＜田井校区＞	・ 田井校区小地域ネットワーク会議	・ ・ ・ ・ ・ 1 回

【八中包括】 計 26 回 (△82)

＜市域＞	・ 寝屋川市在宅医療・介護連携推進協議会	・ ・ ・ ・ ・ 2 回
＜西圏域＞	・ 地域包括、CSW連携会議	・ ・ ・ ・ ・ 9 回
	・ おとしより 110 番プロジェクトワーキングチーム	・ ・ ・ ・ ・ 7 回

- <八中圏域> ・第八中学校区福祉なんでも相談会 3回
- <点野校区> ・点野校区福祉委員会地区長会（包括紹介、出張所機能等説明） . . . 1回
- ・仁和寺本町地区元気アップ体操教室運営打合せ 2回
- ・地区サロン等への参加 1回
- <西校区> ・西校区福祉委員会役員会（包括紹介、出張所機能等説明） 1回

(5) 地域ケア会議

医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスなど専門多職種の協働のもと、公的サービスのみならず他の社会資源も積極的に活用することができる連携の場として日常生活圏域及び包括圏域内で開催しました。また、介護予防支援として自立支援を促すため、「自立支援型地域ケア会議」が位置付けられています。

【三中包括】

① 自立支援型地域ケア会議 <基本 月4回開催>

「自立支援型地域ケア会議」は、効果的な自立支援を進めるために、通所型サービス（短期集中）の利用者で開始から3か月を目安に状態を把握し、自立支援につながるようにケアマネジメント内容の検討を行う会議です。

4月から6月までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議開催を中止し、その後、感染予防に努めながら開催しています。

開催回数	件数
9(△53)	9(△53)

② 個別課題解決型地域ケア会議関係 <10回(△4)>

No	検討事例	出席機関団体 (包括以外)	結果
1	アルコール依存症の本人への支援について	本人、家族、市保健所	市保健所から受診先を紹介され、入院する方向で支援することになった。
2	猫の多頭飼育に対する訴えへの対応及び退院後の支援について	本人、友人、保護課 医療相談員	介護保険の申請を行い、施設入所を支援することになった。
3	被害妄想による隣家への嫌がらせの対応について	家族、住民、市保健所	家族の協力を得て、市保健所の囑託医へつないだ。
4	情緒不安定な本人への支援について	本人、家族、介護支援 専門員	医療機関につなぎ、介護サービスの調整を行った。
5	医療機関を受診していないひとり暮らし高齢者の支援について	本人、家主、医療相談 員	医療機関の定期的を受診し、介護保険サービスの利用に向け調整した。
6	認知症のある高齢者への対応について	オレンジチーム、本 人、家族	オレンジチームと連携し、介護保険サービスを利用に向け調整した。
7	高齢者を介護する療育手帳を所持の息子への支援について	障害福祉課、介護支援 専門員	息子が社会とつながりをもてるように、障害福祉サービスの利用について検討した。

No	検討事例	出席機関団体 (包括以外)	結果
8	ゴミ出しが困難な高齢者への支援について	家族、本人、市役所 (環境事業課)	環境事業課で対応するよう調整した。
9	精神障害のある高齢者の支援について	高齢介護室、市保健所	生活改善を行うため、カンファレンスを継続して開催することを確認した。
10	ひとり暮らし高齢者の退院後の生活について	本人、家族、訪問介護事業所、住宅紹介センター	在宅か施設入所かを検討し、入所することを確認した。

③ ネットワーク型地域ケア会議関係 < 4回(-) >

主たるテーマ	回数	出席機関団体 (包括以外)	会議の主な内容
<三中圏域・八中圏域> 総合事業について説明会	1	居宅介護支援事業所	・ 高齢介護室から総合事業について説明 ・ 質疑応答、意見交換
<三中圏域> 圏域内の交流と今年後の企画について	1	居宅介護支援事業所	・ 民生委員との連携 ・ 障害サービスについて ・ 圏域内の事業所情報交換
<三中圏域> 民生委員と圏域内居宅介護支援事業所との連携について	1	居宅介護支援事業所	・ 民生委員の役割について 「事例から学ぶ」 ・ 圏域内民生委員とケアマネジャーの連絡票について
<三中圏域> 事例検討会	1	居宅介護支援事業所	・ 事例検討 ・ 寝屋川市オレンジチームってなに？

④ 西北圏域地域ケア会議< - 回 (△1) >

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【八中包括】

① 自立支援型地域ケア会議 <基本 月4回開催>

「自立支援型地域ケア会議」は、効果的な自立支援を進めるために、通所型サービス（短期集中）の利用者で開始から3か月を目安に状態を把握し、自立支援につながるようにケアマネジメント内容の検討を行う会議です。

4月から6月までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議を中止し、その後、感染予防に努めながら開催しています。

開催回数	件数
14(2)	18(△61)

② 個別課題解決型地域ケア会議関係 <10回(△4)>

No	検討事例	出席機関団体 (包括以外)	結果
1	近隣から苦情を受けるひとり暮らし高齢者への支援について	市保健所、高齢介護室、介護支援専門員、訪問介護事業所、配食サービス事業所、CSW	本人への支援は介護支援専門員が中心に、近隣への対応は地域包括支援センターが中心で対応することを確認した。
2	近隣から苦情を受けるひとり暮らし高齢者への支援について (1のケースの2回目)	市保健所、介護支援専門員、訪問介護事業所、CSW	引き続き、本人及び近隣の状況を確認していくことになった。
3	精神疾患をもつ高齢者の退院後の支援について	市保健所、障害福祉課、介護支援専門員、訪問看護事業所、PSW 障害福祉サービス事業所、CSW	本人退院後の支援状況の共有を行い、引き続き、本人及び近隣の状況を確認していくこととなった。
4	近隣から苦情を受けるひとり暮らし高齢者への支援について (1のケースの3回目)	市保健所、介護支援専門員、介護保険事業所、CSW	本人への支援に対する各機関の役割分担を確認した。
5	精神疾患をもつ高齢者の在宅生活の支援について (3のケースの2回目)	市保健所、介護支援専門員、障害福祉サービス事業所、CSW	障害福祉サービス利用を調整し、ヘルパーが注意してゴミ出しの様子を見ることになった。
6	在宅生活に不安を感じる本人への支援について	本人、民生委員-児童委員、住宅紹介センター	施設入所する方向で準備していくこととなった。
7	認知症と思われる本人の支援について	家族、介護支援専門員	家族の気持ちを理解しつつ、認知症初期対応支援チームへ相談していくことになった
8	近隣との関係悪化から在宅生活が困難とされる本人への支援について	本人、保護課、介護支援専門員	ショートステイを利用しながら、医療機関への受診、施設入所の準備を行うことになった。
9	認知症と思われる本人の支援について (7ケースの2回目)	介護支援専門員、オレンジチーム	本人には受診同行をして服薬状況及び本人の変化を確認していくことになる。 本人が落ち着いてきたら、家族へも精神科の受診を勧めていくことにする。
10	精神疾患をもつ高齢者の退院後の支援について (3のケースの3回目)	障害福祉課、市保健所、介護支援専門員、障害福祉サービス事業所、CSW	障害福祉サービスによる移動支援の利用手続きを進めていく。サービス事業所から異変を感じた時にカンファレンスを開くこととなった。

③ ネットワーク型地域ケア会議関係 <10回(△4)>

主たるテーマ	回数	出席機関団体 (包括以外)	会議の主な内容
<南圏域、西南圏域、八中圏域> 特事の会(特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所の事例検討会)	1	居宅介護支援事業所	・ケアマネジャーからの事例検討及びグループでの事例検討
<三中圏域・八中圏域> 総合事業について説明会	1	居宅介護支援事業所	・高齢介護室から総合事業について説明 ・質疑応答、意見交換
<西圏域> おとしより110番プロジェクトワーキングチーム	7	薬剤師会、居宅介護支援事業所連絡会、デイサービス事業所連絡会、訪問介護事業所連絡会	・おとしより110番プロジェクトの趣旨を、支援機関へ広めていくための資料作成についての検討
<八中圏域> ネットワーク会議	1	居宅介護支援事業所	・令和元年度の取り組みのふりかえり ・令和2年度取り組みについて検討

④ 西圏域地域ケア会議<-回(△1)>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 広報・啓発活動

包括支援センターの業務内容等を関係機関・団体、福祉委員会、来訪者に対して、ニュースレター等を発行して情報発信を行いました。

包括名	発行月	発行部数	主な内容
三中包括	9	200	・元気な体は自分で作る。 ・民生委員と介護保険事業所との連携 ・運動の勧め ・感染予防について
	11	200	・三中圏域ネットワーク型地域ケア会議 ・第三中学校区内民生委員との連絡票について ・コロナに負けないボランティア ・田井校区福祉委員会と福祉サービス事業所との連携 ・インターネットでの定期購入にご注意
	3	200	・事例検討会「寝屋川市オレンジチームってなに」 ・シルバー110の取り組みスーパーマーケットにも掲示 ・災害に備える第一歩 ・「隠れ冷え性」に注意 ・新型コロナワクチン接種に金銭を求める詐欺

包括名	発行月	発行部数	主な内容
八中包括	9	200	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスと熱中症予防について ・「涼み処」開催について ・介護予防の取り組み（菜園プロジェクト、和裁教室） ・「からだ元気体操会」紹介
	11	200	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスとインフルエンザ予防について ・「涼み処」開催しました。 ・介護予防の取り組み（菜園プロジェクト、和裁教室） ・保健師実習生の受け入れ
	3	200	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でよせられる相談は… ・介護予防の取り組み（菜園プロジェクト、和裁教室） ・感染予防として気をつけることその①

(7) 各包括独自の取り組み

<三中包括>

① シルバー110（イチイチゼロ）の取り組み 協力 51 事業所

第三中学校区及び友呂岐中学校区地域包括支援センターと圏域内の介護保険サービス事業所等が連携し、高齢者が身近な所で気軽に相談できる窓口のネットワークづくりとして、「シルバー110(イチイチゼロ)」の標示を掲示して頂き、高齢者の早期発見・早期支援につなげていきます。

<八中包括>

① 菜園プロジェクトの共同実施（全体実施回数 22回 延べ参加者 148人）

包括の敷地内を活用して菜園コーナーとして、介護予防、閉じこもり予防、居場所作りの一環として、生活困窮者自立支援事業の就労準備支援事業の利用者と一緒に季節の作物の植え付け、収穫を行っています。

*介護予防：高齢者の参加は、22回で延べ参加者は79人

*主な活動は、土づくり、苗の植付、水やり、草抜き、植木の剪定、作物の収穫、調理

*収穫した作物：じゃがいも、大根葉、にんじん、きくな、わけぎ

② おとしより110番プロジェクト

「高齢者が身近にSOSを発信（受信）しやすい地域づくり」を目的に西圏域で活動する団体、機関等からなるプロジェクト委員会にて、プロジェクトの趣旨を伝えるポスターを作成し、今年度は、西圏域の様々な専門機関、団体等に理解と協力を求めるにあたっての資料作成を行っています。

(8) 地域包括支援センターの地域の拠点としての運用状況

高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能をより高めるため、地域の拠点として活用しています。

4月から6月まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、その後、感染予防に努めながら活動に取り組みました。

① 事務所を活用した取組み

包括名	開放・利用状況
三中包括	西北まちかど福祉相談所 (通年開催 29回)
	西北高齢者外出援助サービス・予約受付会場 (通年開催 32回)
八中包括	西・点野校区まちかど福祉相談所出張相談会 (3月 1回)
	元気アップ体操教室 (通年開催 12回)
	和裁教室 (通年開催 11回)
	涼み処 (7月～9月 14回)

② 社会福祉協議会業務に関する対応状況

内容	三中包括	八中包括
ひとり暮らし高齢者台帳の配付等	62枚	10枚
命のカプセルの配付等	53本	9本
移送サービス・外出援助サービス申請書配付等	12枚	4枚
ボランティア保険・行事保険申込書配付等	-枚	-枚

(9) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

要支援認定を受け、介護予防サービスを必要とする方に対し制度の説明を行い、生活状況、サービス利用の有無等を把握するために初回訪問を行っています。その後、介護予防サービスを利用するに至った人のケアプランを確認し、また、予防プランの作成を行っています。

①初回訪問及びケアプランの確認

	初回訪問	ケアプラン確認
三中包括	30	46
八中包括	37	60

※初回訪問は、令和2年11月から実施

②予防プランの作成

月	三中包括			八中包括		
	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計
4	45(7)	188(△29)	233(△22)	38(△11)	171(△27)	209(△38)
5	45(8)	202(△22)	247(△14)	37(△12)	186(△2)	223(△14)
6	45(4)	206(△22)	251(△18)	38(△9)	175(△18)	213(△27)
7	45(5)	207(△18)	252(△13)	40(△11)	178(△6)	218(△17)
8	43(-)	215(△4)	258(△4)	44(1)	184(△7)	228(△6)
9	43(△5)	203(△22)	246(△27)	49(8)	167(△20)	216(△12)
10	43(△2)	206(△21)	249(△23)	49(7)	172(△6)	221(1)
11	44(2)	210(△2)	254(-)	57(19)	174(△13)	231(6)
12	44(1)	210(△1)	254(△2)	52(10)	170(△15)	222(△5)
1	46(3)	204(△2)	250(1)	50(4)	168(△20)	218(△16)
2	48(4)	203(△5)	251(△1)	51(8)	168(△23)	219(△15)
3	47(2)	194(-)	241(2)	52(9)	162(△17)	214(△8)
計	538(27)	2,448(△148)	2,986(△121)	557(23)	2,075(△174)	2,632(△151)

19. 生活困窮者自立支援事業 <市からの受託事業>

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施。経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行っています。

(1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行っています。

① 問合せ・相談件数

月	4	5	6	7	8	9	
件数	1,589 (1,388)	1,614 (1,422)	1,552 (1,371)	1,311 (1,104)	1,230 (1,025)	882 (711)	
相談者数	135(111)	115(81)	51(19)	45(13)	210(174)	234(198)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	656 (453)	638 (429)	712 (486)	815 (623)	1,673 (1,484)	1,648 (1,316)	14,320 (11,812)
相談者数	158(116)	230(199)	178(145)	82(47)	211(181)	300(247)	1,949 (1,531)

② 相談に至る動機

	直接	広報紙等	インターネット	CSW・ 福祉委員	市窓口	関係機関	その他	計
件数	623 (584)	69 (61)	156 (116)	7 (△51)	67 (△97)	934 (871)	93 (47)	1,949 (1,531)

③ 相談経路

	電話	来所	アウトリーチ等	計
件数	9,478(8,682)	4,819(3,258)	23(△128)	14,320(11,812)

④ 相談時間

	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上	計
件数	13,033(11,904)	1,112(183)	152(△239)	23(△36)	14,320(11,812)

⑤ 相談者

	本人	家族・知人	関係機関	民生・福祉委員	その他	計
件数	13,528 (11,346)	585 (408)	84 (△16)	13 (△6)	110 (80)	14,320 (11,812)

⑥ 相談内容（重複有）

内容	生活費・医療費等の支払い	公的資金の貸付	住居確保給付金	就労・就労準備相談	家族・近隣等の関係（ひきこもりの相談を含む）	緊急支援・制度について・その他（生活保護を含む）	計
件数	144 (△234)	11,168 (10,574)	2,474 (2,303)	449 (△260)	119 (△304)	341 (△420)	14,695 (11,659)

⑦ 対応

	終了	継続	計
件数	3,081(2,528)	11,239(9,284)	14,320(11,812)

*継続の主な理由・・・債務整理、就労相談、住居確保、貸付、家族関係等

⑧ 法に基づく事業等による支援の内訳

プランを立てて支援した件数 120件(△94)

⑨ 支援内容（重複有）

内容	住居確保給付金	家計改善支援事業	一時生活支援事業	就労準備支援事業	就労訓練事業（中間的就労）	自立相談支援事業による就労支援	生活福祉資金による貸付	生活保護受給者等就労自立促進事業	その他の社協の事業による支援	地域貢献委員会による支援	計
件数	13 (3)	2 (△18)	11 (3)	19 (△10)	-(-)	73 (△10)	41 (28)	59 (△3)	67 (△22)	- (△3)	285 (△32)

*その他社協の事業による支援・・・生活緊急支援金の給付 善意銀行の食品等の払出し

*地域貢献委員会による支援・・・施設における職場見学・体験・実習 給食支援

⑩ 支援調整会議の開催（開催回数：12回）

ケース会議で検討・共有したケースについて、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プラン終結時の評価、社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を目的に、保護課と枚方ハローワークと月1回開催。支援するプランについての協議や、各機関の情報交換などを行いました。

第1回 4月22日(水) 書面による支援プランの確認・決定

- [1] 3月の新規相談実績について
- [2] プランの状況

第2回 5月27日(水) 書面による支援プランの確認・決定

- [1] 4月の新規相談実績について
- [2] プランの状況

第3回 6月26日(水) 5人

- [1] 5月の新規相談実績について
- [2] プランの状況

- [3] 保護課より情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供（セミナーなど情報提供）
- [5] 生活困窮者法律相談の実績報告
- [6] 特例貸付と住居確保給付金の状況について

第4回 7月22日(水) 5人

- [1] 6月の新規相談実績について
- [2] プランの状況
- [3] 保護課より情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供（セミナーの紹介など）
- [5] 生活困窮者法律相談の実績報告
- [6] 特例貸付の申請受付期間延長と住居確保給付金の状況について
- [7] 福祉のお仕事座談会開催について

第5回 8月26日(水) 5人

- [1] 7月の新規相談実績について
- [2] プランの状況
- [3] 保護課より情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供(セミナーなど情報提供)
- [5] 生活困窮者法律相談の実績報告
- [6] 特例貸付と住居確保給付金の状況について
- [7] 福祉のお仕事座談会について

第6回 9月23日(木) 4人

- [1] 8月の新規相談実績について
- [2] プランの状況
- [3] 保護課より 情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- [5] 生活困窮者法律相談の実績報告
- [6] 福祉のお仕事座談会の開催報告

第7回 10月28日(水) 5人

- [1] 9月の新規相談実績について
- [2] プランの状況
- [3] 保護課より情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- [5] 生活困窮者法律相談の実績報告
- [6] 教育支援資金の中学3年生向けチラシ配布
- [7] 福祉のお仕事座談会の開催について

第8回 11月25日(水) 5人

- [1] 10月の新規相談実績について
- [2] プランの状況
- [3] 保護課より情報提供
- [4] 枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)

- 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告
- 〔6〕福祉のお仕事座談会の今後の予定

第9回 12月23日(水) 5人

- 〔1〕11月の新規相談実績について
- 〔2〕プランの状況
- 〔3〕保護課より情報提供
- 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告
- 〔6〕福祉のお仕事座談会の今後の予定

第10回 1月27日(水) 5人

- 〔1〕12月の新規相談実績について
- 〔2〕プランの状況
- 〔3〕保護課より情報提供
- 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告
- 〔6〕福祉のお仕事座談会について

第11回 2月24日(水) 5人

- 〔1〕1月の新規相談実績について
- 〔2〕プランの状況
- 〔3〕保護課より情報提供
- 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告
- 〔6〕福祉のお仕事座談会について

第12回 3月24日(水) 4人

- 〔1〕2月の新規相談実績について
- 〔2〕プランの状況
- 〔3〕保護課より情報提供
- 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など)
- 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告
- 〔6〕福祉のお仕事座談会の開催報告
- 〔7〕特例貸付の6月末まで受付期間延長について

※支援調整会議におけるプラン協議 258件 (新規・再プラン) 120件

- ・自立相談支援事業 73件
- ・住居確保給付金事業 13件
- ・一時生活支援事業 11件
- ・就労準備支援事業 19件
- ・家計改善支援事業 2件

(評価) 再プラン 53件

(終結) 85件

⑪ 就労等に関する支援状況

新たに就労した人数 53人 (10)

転職・雇用条件の改善によって増収した人数 15人(6)

⑫ 生活困窮者自立支援相談事業（法律相談）

大阪弁護士会と契約し法律相談を月1回実施

月1回の定例相談だけでなく、電話・メールでの相談や弁護士事務所の同行など支援を行っています。

〔1〕 実相談者数 20人(△17)

〔2〕 相談件数 延べ35件(△233)

相談内容内訳(重複あり)

- ・ 借金（自己破産等） 34件(△244)
- ・ 家事（離婚、家の処分等） 1件(△24)
- ・ 住宅（立ち退き、強制執行等） 1件(△11)
- ・ 労働（解雇、賃金未払い等） 1件(△2)
- ・ その他（交通事故、土地問題等） 1件(△9)

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい（借家）を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給（市が決定）。問合せや相談、申請受付、支給期間中に就職活動の状況を把握するための定期面談等を行っています。4月20日より新型コロナウイルス感染症に伴う経済情勢を受け、対象世帯の条件緩和が行われています。

支給期間は基本3か月間。一定の要件を満たせば3か月間を延長・再延長・再々延長また、再申請ができることとなりました。

相談・問合せ件数	項目	申請受付件数	市保護課提出件数	決定件数
2,477(2,440)	初回	259(249)	238(228)	194(184)
	延長	88(85)	88(85)	66(63)
	再延長	46(44)	46(44)	41(39)
	再々延長	12(12)	12(12)	8(8)
	再申請	16(16)	14(14)	5(5)

支給回数・総額 355回 (345) 27,955,500円 (27,228,700円)

中止件数 27件 (26)

(3) 就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行っています。

① 支援プログラム内容及び回数

グループ活動、第八中学校区地域包括支援センターと共同で取り組む「菜園プロジェクト」を実施。また、地域貢献委員会の福祉施設等の協力を得て3つのコース（お役に立ち隊・やってみ隊・働き隊）を設定し就労に向けて支援をしています。

参加人数		内 訳 *重複あり					就労訓練事業
		グループ活動	お役に立ち隊(V体験)	やってみ隊(職場体験)	働き隊	菜園プロジェクト	
男性	7	7	—	2	—	1	—
女性	6	4	—	2	—	5	—
計	13	11	—	4	—	6	—
実施回数		11	—	5		42	—
内 訳	ボランティア		— (—日)				
	地域貢献委員会		—	— (—日)			
	一般事業所		—	1 か所 (5日)			

4月から5月、1月から2月までは新型コロナウイルス感染防止のため、支援プログラムを中止

(4) 福祉のお仕事座談会開催<2回(△1)>

福祉の仕事に関心のある方、転職を考えている方や就労支援を利用している方を対象に、地域貢献委員会との共催で仕事に就くきっかけをつくる座談会を開催しました。(場所:桜撫庵)

6月12日(金)、12月11日(金)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

日時	地域貢献委員会	参加者
9月11日(金)	3人	3人
3月12日(金)	3人	5人

(5) 生活困窮者自立支援事業ニュースレターの発行(年1回/各2,500部発行)

市役所はじめ関係機関や団体、組織構成会員や校区福祉委員といった関係者に対して、事業内容を理解してもらうことを目的に発行しています。

発行日	主 な 内 容
9月15日	コロナ禍における貸付・住居確保給付金について

20. 生活福祉資金貸付事業<府社協からの受託事業>

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金の貸し付けと必要な相談支援を行っています。本年度、新型コロナウイルス感染症特例貸付の対応を行いました。

(1) 実績状況

資金種類	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定額(円)
緊急小口資金	185(△96)	27(4)	19(△1)	1,843,000 (△26,000)
総合支援資金	78(3)	11(6)	8(4)	3,206,000 (1,189,000)
臨時特例 つなぎ資金	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)
福祉資金 教育支援資金	243(△345)	生活必需品(注3) 18(△27)	17(△25)	1,198,000 (△2,061,000)
		福祉費 6(2)	5(2)	5,172,000 (4,522,000)
		生活保護世帯 9(△7)	8(△8)	4,330,000 (△7,738,000)
		低所得世帯 7(△8)	9(△4)	4,929,000 (△6,381,000)
不動産担保型 生活資金	10(△9)	一般 -(△1)	-(-)	-(-)
		要保護 -(-)	-(-)	-(-)
特例貸付緊急 小口資金(注1)	8,729(8,539)	2,603(2,574)	2,407(2,406)	451,490,000 (451,290,000)
特例貸付総合 支援資金・延 長貸付(注1)	10,206(10,206)	2,782(2,782)	2,492(2,492)	1,337,800,000 (1,337,800,000)
特例貸付総合 支援資金再貸 付(注2)	1,010(1,010)	792(792)	262(262)	142,050,000 (142,050,000)
計	20,462(19,309)	6,255(6,118)	5,227(5,128)	1,952,018,000 (1,920,645,000)

(注1)3月25日より新型コロナウイルス感染症特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金」の受付開始

(注2)令和3年2月19日より新型コロナウイルス感染症特例貸付「総合支援資金再貸付」の受付開始

(注3)生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

(2) 教育支援資金の案内チラシの配付

教育支援資金の内容や手続きの方法について周知を図るため、市内 12 中学校に協力を依頼し、中学 3 年生生徒に教育支援資金の案内チラシを配付しました。

実施回数 1 回

配付数 1,948 枚

2 1. 生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行っています。

(1) 生活緊急支援金の給付

①月別給付件数及び金額

月	4	5	6	7	8	9	
給付件数	-(△1)	-(△1)	-(△1)	-(△2)	-(△1)	-(-)	
給付金額 (円)	- (△13,247)	- (△11,883)	- (△3,331)	- (△22,711)	- (△10,000)	- (-)	
月	10	11	12	1	2	3	計
給付件数	-(-)	1(1)	1(-)	-(△1)	1(△1)	-(△3)	3(△10)
給付金額 (円)	- (-)	7,840 (7,840)	9,587 (3,567)	- (△2,113)	9,000 (△3,843)	- (△18,319)	26,427 (△74,040)

②生活困窮のおもな原因

失業	就労収入 減少	年金等 収入減少	疾病	扶養援助 喪失	その他	計
2(△1)	-(△3)	-(-)	1(△2)	-(△2)	-(△2)	3(△10)

③世帯人員の状況

単身	2人	3人	4人	5人以上	計
2(△9)	-(△1)	-(△1)	1(1)	-(-)	3(△10)

④申請者の年齢状況

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
-(△1)	-(△1)	-(△1)	2(-)	1(△3)	-(△3)	-(△1)	-(-)	3(△10)

⑤原資の状況

項目	件数	金額
① 前年度末原資残高		3,878,796円
② 緊急支援金給付金支出	3件	26,427円
③ 歳末たすけあい募金助成金収入	-件	-円
④ 指定寄附金収入	-件	-円
⑤ 利息収入	2件	38円
年度末原資残高 (①-②+⑤)		3,852,407円

2.2. 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業) <府社協からの受託事業>

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではないの方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行っています。

(1) 契約件数および支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
前年度末契約数(A)	28(2)	24(5)	61(3)	113(10)
新規契約数(B)	1(△10)	5(-)	6(-)	12(△10)
契約終了数(C)	8(△1)	1(1)	3(-)	12(-)
契約数(A)+(B)-(C)	21(△7)	28(4)	64(3)	113(-)
支援回数	296(△135)	603(43)	2,034(△239)	2,933(△331)
契約準備数	1(1)	-(△1)	-(△1)	1(△1)

※契約準備数は3月末時点より、2ヵ月後までに契約締結見込数

(2) 新規契約の相談経路

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
介護事業所	1(△9)	-(-)	-(-)	1(△9)
障害福祉課・保護課	-(-)	2(-)	1(1)	3(1)
保健所	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
医療機関	-(-)	-(-)	3(-)	3(-)
障害者支援機関	-(-)	2(-)	2(△1)	4(△1)
地域包括支援センター	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
社会福祉協議会	-(-)	1(-)	-(-)	1(-)
家族・本人	-(△1)	-(-)	-(-)	-(△1)
計	1(△4)	5(-)	6(-)	12(-)

(3) 契約終了の理由内訳

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
死亡	4(△3)	-	-(△2)	4(△5)
成年後見人等が就任	2(1)	-	-(-)	2(1)
家族等管理	1(1)	1(1)	1(1)	3(3)
施設入所に伴い施設管理等	1(-)	-	2(2)	3(2)
転居に伴い支援社協変更	-	-	-(△1)	-(△1)
自己都合	-	-	-	-
計	8(△1)	1(1)	3(-)	12(-)

(4) 利用者に対する支援実施状況

① サービス別利用状況

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
利用援助サービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理	20(△6)	17(-)	55(4)	92(△2)
利用援助サービス+預かりサービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理+預かりサービス	2(-)	9(2)	10(-)	21(2)
計	22(△6)	26(2)	65(4)	113(-)

② 性別・世帯状況・生活の場所

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
性別	男性	12(△2)	15(1)	42(3)	69(2)
	女性	9(5)	13(3)	22(-)	44(△2)
世帯	単身者	19(△7)	22(5)	59(2)	100(-)
	夫婦	2(-)	2(-)	1(1)	5(1)
	その他	-(-)	4(1)	4(-)	8(1)
生活の場所	在宅	14(△6)	23(-)	58(1)	95(△5)
	グループホーム	1(1)	4(3)	2(1)	7(5)
	福祉施設	5(△3)	-(-)	4(2)	9(△1)
	病院	-(-)	-(-)	2(1)	2(1)

※福祉施設：特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅

③ 経済状況

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
経済状況	生活保護世帯	12(△6)	14(-)	52(-)	78(△6)
	所得税非課税世帯	9(△1)	13(4)	11(3)	33(6)
	所得税課税世帯	-(-)	1(-)	1(-)	2(-)

④ 支援計画に基づく1か月あたりの支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
週1回	-(△1)	6(2)	32(2)	38(3)
月1回	13(△6)	15(1)	23(3)	51(△2)
隔週	3(-)	4(1)	5(-)	12(1)
月2回	-(-)	3(-)	4(△2)	7(△2)
2か月に1回	5(-)	-(-)	-(-)	5(-)
計	21(△7)	28(4)	64(3)	113(-)

(5) 利用者に関する相談・問合せ件数

① 相談・問合せ方法

電話	来所	訪問	計
2,674(200)	32(123)	5(△72)	2,711(5)

② 相談経路内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本人	61(42)	246(△200)	2,314(189)	2,621(31)
家族	3(3)	9(1)	18(1)	30(5)
知人	-(-)	-(-)	-(△1)	-(△1)
民生委員・児童委員	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
介護保険施設	2(△4)	4(△2)	6(2)	12(△4)
その他福祉施設	-(△1)	7(6)	6(1)	13(6)
専門相談機関	-(△4)	5(△1)	9(△41)	14(△46)
行政	-(△1)	1(1)	2(2)	3(2)
医療機関	-(△1)	4(4)	9(6)	13(9)
その他	4(2)	1(1)	-(-)	5(3)
計	70(36)	277(△190)	2,364(159)	2,711(5)

③ 相談・問合せ内容(重複回答あり)

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
福祉サービス利用援助	4(2)	73(65)	443(433)	520(500)
日常的な金銭管理	66(17)	247(△179)	1,847(38)	2,160(△124)
書類などの預かり	-(-)	1(△13)	7(4)	8(△9)
その他生活相談	7(△33)	201(△216)	1,833(△203)	2,041(△452)
成年後見制度関連	1(1)	-(-)	-(-)	1(1)
計	78(△13)	522(△343)	4,130(272)	4,730(△84)

(6) 申込相談受付・事業問合せ件数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
既申込相談件数	1(1)	1(1)	-(-)	-(-)	2(2)
新規相談件数	20(9)	13(-)	10(△3)	-(-)	43(6)
事業問合せ件数	18(5)	13(△1)	11(△3)	2(2)	44(4)

23. 善意銀行事業

市民・団体から寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行っています。

(1) 預託・払出の状況

① 現金預託・払出の実施状況

預託 5件 預託金額 362,537円(169,108円)

払出 7件 払出金額 359,981円(172,132円)

※3月31日現在の残高金額 1,394,970円

② 物品預託・払出の実施状況

	預託者	件数	点数	主な品名
預託	市民	9	10	物品6件 電気ストーブ、洗濯洗剤、弱酸性次亜塩素酸水、 手作り防護服、介護用オムツ、防災セット
	団体	3	10	
	地域貢献 委員会	22	60	
	企業	8	9	食品36件 精米、長期保存米、非常食パン、インスタント麺、 カップ麺、乾麺、レトルト食品、缶詰、味噌汁・ スープ類、調味料、加工食品、冷菓、飲料、お菓子、 瓶詰
	匿名	-	-	
	計	42(△13)	89(13)	

	払出先	件数	点数	主な品名
払出	市民	70(△5)	293(90)	物品7件 杖、紙パンツ、食器、手作り防護服、調理器具、 下着衣服 食品64件 精米、長期保存米、缶詰、長期保存パン、インス タント麺、みそ汁・スープ類、レトルト食品、缶 詰、飲料、ふりかけ、佃煮、だしつゆ、乾麺、福 豆、お菓子・冷菓類、加工食品
	施設	1(1)	1(1)	
	計	71(△4)	294(91)	

24. 法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図りました。

(1) 法人運営事業

① 役員会・理事会の開催（開催回数：役員会8回・理事会6回）

【役員会】4月20日（月）、5月14日（木）、12月10日（木）、1月25日（月）、2月18日（木）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【理事会】4月27日（月）、5月28日（木）、12月21日（月）、2月25日（木）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第1回 役員会 6月1日（月） 出席：役員3人

第1回 理事会 6月12日（金） 書面決議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） 承認21票・不承認 - 票
--

報 告

〔1〕事務局職員人事異動について

専決処分の報告

〔1〕令和元年度社会福祉事業補正予算（第1号）について

〔2〕令和元年度公益事業補正予算（第1号）について

議 案

〔1〕令和元年度事業報告認定について

〔2〕令和元年度社会福祉事業決算報告認定について

〔3〕令和元年度公益事業決算報告認定について

〔4〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔5〕第1回評議員会の開催について

〔6〕校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会実施要項について

報 告

〔1〕新型コロナウイルスへの対応について

〔2〕会長職務執行状況報告について（令和元年度下半期分）

〔3〕会員募集中間報告について

〔4〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

第2回 役員会 7月20日（月） 出席：役員3人

第2回 理事会 7月27日（月） 出席：理事20人・監事2人

議 案

〔1〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔2〕各種専門委員会委員の選任について

〔3〕役員改選に伴う退任者への感謝状等の贈呈について

- 〔4〕 歳末たすけあい運動実施要項について
- 〔5〕 介護予防サポーター実力向上研修開催要項について

報 告

- 〔1〕 高齢者等の見守り活動に関するアンケート調査中間報告について
- 〔2〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 新型コロナウイルスへの対応について
- 〔7〕 委員会報告

第3回 役員会 8月25日(火) 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕 福祉基金運用について

報 告

- 〔1〕 寝屋川市高齢者施設協議会設立について
- 〔2〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

第4回 役員会 9月16日(水) 出席：役員3人

第3回 理事会 9月28日(月) 出席：理事19人・監事2人

専決処分の報告

- 〔1〕 福祉基金運用について

議 案

- 〔1〕 社会福祉事業補正予算(第1号)について
- 〔2〕 まちかど福祉相談員養成研修会開催について

報 告

- 〔1〕 寝屋川市高齢者施設協議会設立について
- 〔2〕 ボランティアセンター運営委員会委員の選任について
- 〔3〕 地域福祉活動計画推進委員会兼策定委員会について
- 〔4〕 役員・評議員研修会及び新年互例会の中止について
- 〔5〕 新型コロナウイルスへの対応について
- 〔6〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔7〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔8〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔9〕 委員会報告

第5回	役員会	10月19日(月)	出席：役員3人
第4回	理事会	10月26日(月)	出席：理事18人・監事2人

議案

- [1] 令和3年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- [2] 歳末たすけあい運動募金配分計画について

報告

- [1] 歳末たすけあい運動街頭募金の中止について
- [2] 会長職務執行状況報告について(4~9月分)
- [3] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [4] 生活緊急支援金給付状況報告について
- [5] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [6] 後援承認について
- [7] 新型コロナウイルスへの対応について
- [8] 委員会報告

第6回	役員会	10月29日(木)	出席：役員3人
-----	-----	-----------	---------

議案

- [1] 令和3年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

第7回	役員会	11月12日(木)	出席：役員3人
第5回	理事会	11月25日(水)	出席：理事19人・監事2人

監査報告

- [1] 中間監査報告について

報告

- [1] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [2] 生活緊急支援金給付状況の報告について
- [3] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [4] 新型コロナウイルスへの対応について
- [5] 委員会報告

第8回	役員会	3月5日(金)	出席：役員3人
第6回	理事会	3月12日(金)	出席：理事17人・監事2人

専決の報告

- [1] 令和3年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

議案

- [1] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算(第2号)について
- [2] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について
- [3] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会役員及び評議員選任規則の一部改正について
- [4] 第3次寝屋川市地域福祉活動計画について
- [5] 令和3年度事業計画について

- [6] 令和3年度社会福祉事業予算について
- [7] 評議員会候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- [8] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- [9] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について
- [10] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
- [11] 第2回評議員会の開催について
- [12] 役員等賠償責任保険契約について

報 告

- [1] 赤い羽根共同募金運動実績報告について
- [2] 歳末たすけあい運動実施報告について
- [3] 令和3年度ボランティア講座（入門編）について
- [4] 令和3年度年間行事予定・地域献血日程について
- [5] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [6] 生活緊急支援金給付状況の報告について
- [7] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [8] 新型コロナウイルスへの対応について
- [9] 委員会報告

② 評議員会の開催（開催回数：2回）

第1回 評議員会 6月26日（金）書面決議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
承認 51票・不承認 - 票

報 告

- [1] 事務局職員人事異動について

専決処分の報告

- [1] 令和元年度社会福祉事業補正予算（第1号）について
- [2] 令和元年度公益事業補正予算（第1号）について

議 案

- [1] 令和元年度事業報告承認について
- [2] 令和元年度社会福祉事業決算報告承認について
- [3] 令和元年度公益事業決算報告承認について
- [4] 役員を選任について

第2回 評議員会 3月30日（火）
出席：評議員41人・理事18人・監事2人

補正予算の報告

- [1] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算（第1号）について
- [2] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算（第2号）について

議 案

- [1] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について

- [2] 令和3年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について
- [3] 令和3年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会予算について
- [4] 第3次寝屋川市地域福祉活動計画について

報 告

- [1] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [2] 新型コロナウイルスへの対応について
- [3] 令和3年度年間行事予定・地域献血日程について

③ 役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：1回）

一部校区福祉委員会で校区福祉委員長交代のために開催しました。

【区分1】校区福祉委員会 6月2日（火） 8人（該当校区のみ）

④ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：3回）

定款に基づき、評議員選任・解任委員会を設置し、評議員の選任を行いました。

第1回 6月15日（月） 3人

第2回 7月29日（水） 3人

第3回 3月18日（木） 3人

⑤ 社協運営委員会の開催（開催回数：4回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項について、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告又は提案を行いました。

第1回 9月9日（水） 6人

議 案

- [1] 福祉基金運用について

第2回 10月9日（金） 6人

議 案

- [1] 社協役員及び評議員の構成員のあり方について

- [2] 歳末たすけあい運動の配分について

第3回 11月11日（水） 6人

- [1] 社協役員及び評議員の構成員のあり方について

- [2] 会員募集実施要項について

第4回 1月14日（木） 5人

- [1] 社協役員及び評議員の構成員のあり方について

⑥ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、159の団体や施設の加入がありました。

(2) 地域貢献委員会の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人 46 団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行いました。

① 役員会の開催(開催回数：3回)

第1回 6月22日(月) 出席：3人

- [1] 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携助成事業について
- [2] 「アウトリーチ型研修」助成事業について

第2回 9月16日(水) 出席：4人

- [1] 副委員長の選任について
- [2] 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携助成事業について
- [3] 福祉のお仕事座談会について

第3回 3月11日(木) 出席：6人

- [1] アウトリーチ型研修助成事業、大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業各助成事業の実施報告と精算報告について
- [2] 令和2年度事業報告・決算について
- [3] 令和3年度事業計画・予算(案)について
- [4] 監査の日程について
- [5] 総会開催について

② 企画委員会の開催(開催回数：1回)

第1回 10月15日(木) 出席：15人

- [1] 副委員長の選任について
- [2] 企画委員について
- [3] 令和2年度の取り組みについて

③ 総会の開催

3月31日(水) 出席：17人

- [1] 令和2年度事業報告、決算報告について
- [2] 令和2年度監査報告
- [3] 役員改選について
- [4] 令和3年度事業計画(案)、予算(案)について
- [5] 会則改正(案)について

(3) 高齢者施設協議会の設立及び運営支援

高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人 16 法人で構成される高齢者施設協議会の設立及び運営の支援を行いました。

① 準備会の開催

8月5日(水) 出席：6人

② 設立総会の開催

日 時 8月12日(水)

場 所 保健福祉センター5階 多目的室

内 容 [1] 定款の承認、役員を選出、事業計画及び活動予算について

[2] 基調講演「新型コロナウイルス感染症再拡大に備えた寝屋川市の対策と高齢者施設との連携」

講師：寝屋川市長 広瀬 慶輔 氏

参加者 16法人 27人

③ 感染症発生時における職員派遣支援事業

検討打合せ 9月2日(水)、8日(火)、17日(木)、25日(金)

覚書調印式 10月28日(水)実施

(4) 財源確保事業

① 会員募集の実施

[1] 住民賛助会費 17,008,349円(△506,726円)

(住民賛助会員：会員区分別金額・口数表)

(金額単位：円)

区分	一般	特別	賛助	特別賛助	名誉	特別名誉	協力費	計
金額	8,775,500	871,000	206,000	369,000	315,000	400,000	6,071,849	17,008,349
口数	17,551	871	103	123	63	40		18,751

[2] 組織構成会員会費 715,000円(△20,000円)

(法人118未法人30：計148事業所・団体)

② その他財源確保に関する取り組みの実施・調査・研究

[1] 福祉基金(目標額：3億円)

令和元年度末の福祉基金額 241,446,245円

令和2年度基金の積立額 2,120,746円

令和3年3月末の福祉基金額 243,566,991円

[2] 一般寄附金

令和2年度の寄附金額 150,700円(寄附件数18件)

[3] 調査・研究

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金等、新型コロナウイルス感染症拡大影響下における募金活動のあり方について、他市の取り組み等調査しました。

(5) 実習生の受入れ

社会福祉士等資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

関西大学 *オンライン上での実習対応

大阪医専 2人

大阪市立大学 1人

計3人

(6) 短期インターンシップ生の受入れ

社会福祉協議会の活動の理解と関心を持ってもらうため、大阪府社会福祉協議会と連携して短期インターンシップ生（大学生）の受入れを行いました。

大阪大学 1人

天理大学 1人

龍谷大学 1人

計3人

25. 研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に実施又は参加しました。

(1) 役員（理事・監事）・評議員研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 職員研修

① 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
1	寝屋川市新規採用職員研修	4	5
2	生活支援コーディネーター研修(初任者・基礎編)	1	2
3	共生・福祉のまちづくり（ソーシャルインクルージョン）研修会	1	1
4	寝屋川市新任係長研修	5	3
5	日常生活自立支援事業新任者研修会	2	1
6	日常生活自立支援事業担当者会議内研修会	1	1
7	アルコール問題への効果的な支援に関する研修	1	1
8	介護保険制度における福祉用具と住宅改修に関する研修	1	1
9	生活支援コーディネーター研修・情報交換会	1	2
10	ファシリテーション研修	2	3
11	地域福祉コーディネータースキルアップ研修	1	2
12	生活支援コーディネーター研修（オンライン）	1	1
13	生活支援コーディネーター養成研修	1	1
14	専門員実践力強化研修	1	2
15	介護保険制度における福祉用具と住宅改修に関する研修	1	1
16	高齢者虐待の事例から対応方法を学ぶ（地域包括支援センター職員研修）	1	3
17	介護予防ケアマネジメントの実践に向けて	1	1
18	「自立を支援するケアプランの考え方」研修	1	1
19	生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	2	1
20	大阪府生活困窮者自立支援制度従事者研修	1	1
21	ブランディング&PRセミナー	1	2
	計	31	36

26. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行っています。

(1) 寝屋川地区募金会理事会の開催（開催回数：2回/書面決議1回）

第1回 6月12日（金）書面決議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

承認 21票・不承認 - 票

議案

〔1〕赤い羽根共同募金実施要項について

第2回 7月27日（月）出席：理事20人・監事2人

報告

〔1〕赤い羽根共同募金配分申請受付について

第3回 3月12日（金）出席：理事17人・監事2人

報告

〔1〕赤い羽根共同募金運動実績報告について

(2) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行いました。

周知 機関紙「虹」（5月1日号）

受付件数 5件

(3) 共同募金配分決定

配分件数 5件

27. 地域福祉活動計画の推進・策定

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第2次地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」を推進しました。また、新たに市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第3次地域福祉活動計画を策定しました。

(1) 地域福祉活動計画推進委員会兼策定委員会の開催（開催回数：3回）

1月29日（金）、2月9日（火）、2月26日（金）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。＊各回中止の際に、第3次地域福祉活動計画策定関係資料を送付

第1回 8月27日（木） 出席：12人

- 〔1〕 委嘱状の交付
- 〔2〕 自己紹介
- 〔3〕 委員長・副委員長の選出
- 〔4〕 第3次地域福祉活動計画策定に向けて

第2回 11月27日（金） 出席：12人

- 〔1〕 地域福祉活動計画の進捗状況
- 〔2〕 次期計画策定に向けて（進め方、策定委員の意見集約）

第3回 3月23日（火） 出席：11人

- 〔1〕 第3次地域福祉活動計画（最終案）の確認について
- 〔2〕 今後のスケジュール

【第2次地域福祉活動計画の推進】

(1) 未来福祉デザイン会議の開催（開催回数：1回）

第1回 9月15日（火） 10人

- 〔1〕 未来福祉ねやがわプラン2年目の振り返り
- 〔2〕 未来福祉ねやがわプランの進捗度をチェックしよう。

(2) しゃべり場の開催（開催回数：-回）

NPO 法人芽ばえ、社会福祉法人大阪誠昭会、寝屋川市立校園 PTA 協議会と「子育てをあたたくく見守る」をテーマに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

＊上記3団体に対して、第3次地域福祉活動計画策定に向けてのヒアリングを実施

(3) 未来福祉ねやがわプラン助成金の交付

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、交付実施なし

【第3次地域福祉活動計画の策定】

(1) ヒアリングの実施

地域福祉活動に取り組んでいる各団体、社会福祉施設、関係機関の抱える現状及び課題、地域との連携等を把握するために対面および書面でのヒアリングを実施しました。

(1) 実施期間 10月～1月

(2) 実施団体数 70団体（一部協議体に組織される団体の総数で計上）

【対面でのヒアリング】

開催日	団体名
10月23日（金）	市老人クラブ連合会
11月2日（月）	校区福祉委員長協議会
11月9日（月）	市政協力委員自治推進協議会
11月16日（月）	ボランティアセンター運営委員会
11月26日（木）	香里園ロータリークラブ

【書面でのヒアリング】

団体名
ひきこもり支援各種団体
地域包括支援センター
民間保育所協議会
寝屋川市商業団体連合会
寝屋川地区保護司会
NPO 法人寝屋川市国際交流協会
寝屋川中央ライオンズクラブ
民生委員児童委員協議会
NPO 法人芽ばえ
高齢者福祉施設協議会
寝屋川高齢者サポートセンター運営協議会
障害児者福祉施設協議会
寝屋川ロータリークラブ
寝屋川青年会議所
青少年の居場所「スマイル」「ハピネス」
寝屋川市立校舎 PTA 協議会

28. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う取り組み（再掲）

新型コロナウイルス感染症による経済情勢の影響や、緊急事態措置に伴う外出自粛の要請等により、生活に困窮している世帯等を対象とした特例措置の事業を実施しました。

(1) 外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業

① 校区福祉委員会、民生委員児童委員協議会共催で電話による見守り・安否確認

対象：ひとり暮らし高齢者等

人数：8,797人

② 障害児者の孤立を防ぐ活動（障害児者福祉施設協議会と連携）

対象：14事業所

人数：138人

③ 「社協かわら版」の作成と配付

対象：ひとり暮らし高齢者等

部数：10,000部

(2) 新型コロナウイルス感染症特例の貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少や失業等により生活に困窮している世帯に対して貸付を実施しています。審査は大阪府社会福祉協議会が行っています。

資金種類	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定額(円)
特例貸付 緊急小口資金 (注1)	8,729(8,539)	2,603(2,574)	2,407(2,406)	451,490,000 (451,290,000)
特例貸付 総合支援資金・延長貸付 (注1)	10,206(10,206)	2,782(2,782)	2,492(2,492)	1,337,800,000 (1,337,800,000)
特例貸付 総合支援資金 再貸付(注2)	1,010(1,010)	792(792)	262(262)	142,050,000 (142,050,000)
計	19,945(19,755)	6,177(6,148)	5,161(5,160)	1,931,340,000 (1,931,140,000)

(注1)3月25日より新型コロナウイルス感染症特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金」の受付開始

(注2)令和3年2月19日より新型コロナウイルス感染症特例貸付「総合支援資金再貸付」の受付開始

(3) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい（借家）を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給（市が決定）。問合せや相談、申請受付、支給期間中に就職活動の状況を把握するための定期面談等を行っています。4月20日より新型コロナウイルス感染症に伴う経済情勢を受け、対象世帯の条件緩和が行われています。

相談・問合せ件数	項目	申請受付件数	市保護課提出件数	決定件数
2,477(2,440)	初回	259(249)	238(228)	194(184)
	延長	88(85)	88(85)	66(63)
	再延長	46(44)	46(44)	41(39)
	再々延長	12(12)	12(12)	8(8)
	再申請	16(16)	14(14)	5(5)

支給回数・総額 355回 (345) 27,955,500円 (27,228,700円)

中止件数 27件 (26)